

第1鍼灸学科・第2鍼灸学科 授業科目一覧表

教育内容		授業科目		授業形態	時間数	必修単位	実務経験のある教員 による授業科目			
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	自然科学		講義	30	2				
		健康とスポーツ		講義	30	2				
		情報処理		講義	30	2				
		外国語		講義	30	2				
		健康指導法		講義	30	2				
		食と健康		講義	30	2				
		心理学		講義	30	2				
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅱ－1		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅱ－2		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅲ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅳ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅴ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅵ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅶ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅷ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅸ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅹ		講義	30	1				
		人体の構造と機能Ⅺ		講義	30	1				
	疾病の成り立ち、予防 及び回復の促進	運動学		講義	30	1				
		病理学概論Ⅰ		講義	30	1				
		病理学概論Ⅱ		講義	30	1				
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ		講義	30	1				
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ		講義	30	1				
		リハビリテーション医学		講義	30	1				
		臨床医学Ⅰ		講義	30	1				
		臨床医学Ⅱ		講義	30	1				
		臨床医学Ⅲ		講義	30	1				
		臨床医学Ⅳ		講義	30	1				
		臨床医学Ⅴ		講義	30	1				
		臨床医学Ⅵ		講義	30	1				
	臨床医学Ⅶ		講義	30	1					
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	医療概論		講義	15	1				
		社会保険制度と職業倫理		講義	15	1				
		関係法規		講義	30	1				
専門分野	基礎はりきゅう学	鍼灸理論Ⅰ		講義	30	1	●			
		経絡経穴概論Ⅰ		講義	60	2	●			
		経絡経穴概論Ⅱ		講義	60	2	●			
		東洋医学概論Ⅰ		講義	30	1	●			
		東洋医学概論Ⅱ		講義	30	1	●			
		東洋医学概論Ⅲ		講義	30	1	●			
		東洋医学概論Ⅳ		講義	30	1	●			
	臨床はりきゅう学	臨床鍼灸学Ⅰ－1		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学Ⅰ－2		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学Ⅱ－1		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学Ⅱ－2		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学Ⅲ		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学Ⅳ		講義	30	1	●			
		臨床鍼灸学応用Ⅰ		健美鍼灸論基礎 健康スポーツ鍼灸論基礎 医療連携鍼灸論基礎 健美鍼灸論	※	講義	30	1	●	
		臨床鍼灸学応用Ⅱ		健康スポーツ障害論 医療連携鍼灸論	※	講義	30	1	●	
		鍼灸理論Ⅱ			講義	30	1	●		
		鍼灸理論Ⅲ			講義	30	1	●		
		臨床鍼灸演習Ⅰ			演習	30	1	●		
		臨床鍼灸演習Ⅱ－1			演習	30	1	●		
		臨床鍼灸演習Ⅱ－2			演習	30	1	●		
		社会はりきゅう学	臨床コミュニケーション論		演習	30	1	●		
			鍼灸の歴史と社会Ⅱ		講義	30	1	●		
		実習	はり実技Ⅰ		実習	30	1	●		
			はり実技Ⅱ		実習	30	1	●		
	きゅう実技Ⅰ		実習	30	1	●				
	きゅう実技Ⅱ		実習	30	1	●				
	取穴実技Ⅰ		実習	30	1	●				
	取穴実技Ⅱ		実習	30	1	●				
	東洋医学実習Ⅰ		実習	30	1	●				
	東洋医学実習Ⅱ		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅰ		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅱ		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅲ		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅳ		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅴ－1		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸学実習Ⅴ－2		実習	30	1	●				
	臨床鍼灸実習応用		健美鍼灸実習 健康スポーツ鍼灸実習 医療連携鍼灸実習	※	実習	30	1	●		
	臨床実習		臨床実習Ⅰ		実習	45	1	●		
			臨床実習Ⅱ		実習	45	1	●		
			臨床実習Ⅲ		実習	45	1	●		
臨床実習Ⅳ			実習	45	1	●				
総合領域	鍼灸の歴史と社会Ⅰ		講義	30	1	●				
	総合鍼灸学Ⅰ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅱ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅲ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅳ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅴ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅵ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅶ		講義	30	1					
	総合鍼灸学Ⅷ		講義	30	1					
	総合鍼灸学演習		健美鍼灸コース 健康スポーツ鍼灸コース 医療連携鍼灸コース 研究コース 臨床コース 学修コース	※	演習	30	1	●		
	合 計							2,670	95	1,410単位時間

※ 選択必修科目（1科目選択）

認定規則外 自由選択科目	救急処置実習			実習	30	1	
	インターンシップ実習Ⅰ			実習	40	1	
	インターンシップ実習Ⅱ			実習	40	1	
	インターンシップ実習Ⅲ			実習	40	1	
	インターンシップ実習Ⅳ			実習	40	1	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	自然科学	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	今井 清博	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的

自然科学では、自然環境の中で活動する人体の解剖生理学の基礎、すなわち人体の構造を細胞から個体までの階層構造の中で理解し、各階層の構造に支えられる機能発現の機序を理解することを目的とします。

到達目標

自己が生きて活動している仕組みを細胞から始めて身体全体にわたり、各階層の構造を基礎にして理解し、説明できる。

授業の内容

人体構造の基礎、細胞の構造と機能、細胞分裂、発生、遺伝子、物質・エネルギー代謝、体液の物理化学、ホメオスタシス、組織の種類、器官・器官系、主要な神経経路と循環経路、胎児の循環、体表・局所解剖などを、配布する資料ならびにパワーポイントを用いて説明する。毎回、最後に「今日の問題」を解答させて理解を深める。

注意事項

1. 解剖学と生理学は医学の学問大系で双璧をなす最も基礎的で重要な分野である。病理学、薬学、遺伝学、衛生学、各臨床医学などは解剖・生理学から派生して発展したことを念頭において、しっかり学んで欲しい。
2. 解剖学と生理学の個々の項目は相互に関連し、積み木のように構築されるので、途中で落伍しないよう、疑問が生じた際は遠慮無く積極的に質問すること。質問はフィードバックされて新しい積み木を重ねることになる。

成績評価

授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。
学期途中に行う確認試験、期末試験（筆記試験）を行い、100 点満点で評価します。
合計点が 60 点以上で合格となります。

テキスト

テキストは指定しないが、毎回資料（プリント）を配布する。

参考文献・図書

栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版、羊土社、2020 年

オフィスアワーについて

曜日：
時間：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、人体構造の基礎 解剖学用語、人体の方向と位置、人体の区分、階層構造、細胞から個体へ、について学ぶ	個体の成り立ちを復習する
	到達目標	個体の成り立ちを説明できる	
2	授業内容	細胞の構造と機能 1 細胞の構造、細胞小器官、細胞膜について学ぶ	細胞について予習しておく 細胞の仕組みを復習する
	到達目標	細胞の仕組みを説明できる	
3	授業内容	細胞の構造と機能 2 染色体、細胞分裂について学ぶ	細胞について予習しておく 染色体・細胞分裂を復習する
	到達目標	遺伝子の動向を説明できる	
4	授業内容	遺伝情報とその発現 核酸、遺伝情報、蛋白質合成について学ぶ	遺伝子を予習しておく 遺伝情報の発現、タンパク質合成を復習する
	到達目標	遺伝情報の発現とタンパク質合成を説明できる	
5	授業内容	人体の発生 生殖細胞、受精、初期発生について学ぶ	細胞分裂について予習しておく 胚の発生を復習する
	到達目標	生殖細胞の振る舞いから新しい生命発生を説明できる	
6	授業内容	物理化学的基礎 濃度、拡散、受動・能動輸送、膜輸送について学ぶ	物理現象について予習しておく 細胞における物理化学現象を復習する
	到達目標	細胞の機能を支える物理化学的現象を説明できる	
7	授業内容	物質・エネルギー代謝 同化と異化、細胞呼吸について学ぶ	代謝について予習しておく エネルギー生成機構を復習する
	到達目標	エネルギー生成機構を説明できる	
8	授業内容	体液 区分、pH、浸透圧、体液量、浮腫、脱水について学ぶ	体液について予習しておく 体液の組成・機能を復習する
	到達目標	体液の組成や機能を説明できる	
9	授業内容	ホメオスタシス 内部環境、外部環境、調節機序について学ぶ	生体の調節機構を予習しておく ホメオスタシスを復習する
	到達目標	生理学の基本概念であるホメオスタシスを説明できる	
10	授業内容	組織 組織の種類と特性について学ぶ	組織について予習しておく 組織の分類・機能を復習する
	到達目標	組織の分類・機能を説明できる	
11	授業内容	器官・器官系 器官・器官系の種類と特性	器官・器官系を予習しておく 器官・器官系の種類・特性を復習する
	到達目標	器官と個体の構成を説明できる	
12	授業内容	血管・神経 主要な血管・神経の経路について学ぶ	血管・神経について予習しておく 血管・神経の走行・分布・名称を復習する
	到達目標	血管・神経の走行・分布と名称を説明できる	
13	授業内容	胎児の循環 胎盤の構造と機能、臍帯について学ぶ	胎児について予習しておく 胎児の構造と胎児循環を復習する
	到達目標	胎児の循環を母体の循環の違いを説明できる	
14	授業内容	体表・局所解剖 体表の区分、浅層の骨と筋について学ぶ	ここまで学習した触知可能な部位を予習しておく 体表・局所解剖を復習する
	到達目標	触知可能な骨や筋の分布を説明できる	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本講義の内容について確認・復習をする	
	到達目標	本講義の内容について知識を修得している	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	健康とスポーツ	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩内 和也	E-mail		実施時期	1 年 前期		

授業の目的							
人間の身体活動を支える栄養素に関する基礎的理解をはかると共に、生命活動と密接に関わる各種栄養素について学習することを目的とする。また、スポーツについてはフットサル（サッカー）を通して、技術の向上、身体を調整しながら動かす能力の向上を図ると共に、身体を動かす楽しさや仲間と協力することの大切さを学ぶ。							
到達目標							
生命活動と密接に関わる各種栄養素について考察し、実践的な食事へ反映させることができるようになる。スポーツについては教員の説明を理解し、行動することができる。							
授業の内容							
人間の身体活動の基礎となる各種栄養素について解説する。生活に密着した食事内容や水分補給、サプリメントの知識等を扱うこととする。スポーツについては教員が実演を行いながら口頭で説明する。							
注意事項							
医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。							
成績評価							
授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。 評価は筆記試験（50%）、技能・意欲・態度（50%）にて行います。							
テキスト							
プリント配布							
参考文献・図書							
栄養の基礎がわかる図解辞典 成美堂出版							
オフィスアワーについて							
曜日： 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 栄養学の基礎について学ぶ	栄養について予習しておく
	到達目標	栄養学の基礎を説明できる	
2	授業内容	三大栄養素 炭水化物・たんぱく質・脂質について学ぶ	三大栄養素について復習しておく
	到達目標	三大栄養素を説明できる	
3	授業内容	その他の栄養素 ビタミン・ミネラル・食物繊維・水について学ぶ	その他の栄養素について復習しておく
	到達目標	その他の栄養素を説明できる	
4	授業内容	日本人の栄養摂取基準 バランスガイドを利用した栄養摂取基準について学ぶ	栄養摂取基準について復習しておく
	到達目標	栄養摂取基準を説明できる	
5	授業内容	運動時の栄養 運動時の栄養について学ぶ	運動時の栄養について復習しておく
	到達目標	運動時の栄養を説明できる	
6	授業内容	疾病時の栄養 疾病時の栄養について学ぶ	疾病時の栄養について復習しておく
	到達目標	疾病時の栄養を説明できる	
7	授業内容	減增量時の食事、栄養補助食品 減增量時の食事、栄養補助食品について学ぶ	減增量時の食事について復習しておく
	到達目標	減增量時の食事を説明できる	
8	授業内容	まとめ1(評価を含む) 本講義の内容を確認・復習する	本講義の内容について復習しておく
	到達目標	本講義の内容を説明できる	
9	授業内容	フットサル	フットサルについて予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
10	授業内容	フットサル	フットサルコートについて予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
11	授業内容	フットサル	フットサルのルールについて予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
12	授業内容	フットサル	フットサルのパスについて予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
13	授業内容	フットサル	フットサルのシュートについて予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
14	授業内容	フットサル	フットサルの戦術について予習しておく
	到達目標	本講義に学習した技術について実施することができる	
15	授業内容	まとめ2(評価を含む) 本講義で学んだ内容を確認・復習する	
	到達目標	本講義の内容について知識・技術を修得している	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	情報処理	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岡本 芳幸	E-mail		実施時期	1 年 前期		

授業の目的

近年、情報技術（IoT）の発達により、医療の分野でも電子カルテや保健医療情報システムの構築、またインターネットホームページの利用が話題となっています。また、一般企業においても、就職時の必須技能としてワープロや表計算ソフトを用いた文章作成が要求されています。

そこで、本授業ではコンピューターの基本を理解し、iPad を用い日常的に利用するインターネット・ワープロ表計算等の理解を深め、セキュリティの知識をつけることなど IoT 技術の基礎を習得することを目的とします。

到達目標

iPad を用いて、テーマに沿ったインターネットからの情報収集ができ、その情報から文書作成、グラフ作成、プレゼンテーション書類作成ができる。

授業の内容

授業形態は「講義」ですが、実際の機器操作を行わなければ理解しがたい部分もあるため、iPad を用いて授業を行います。また、iPad の習熟度には個人差が大きい為、授業レベルは原則として初学者を基準とします。授業内容は概ね以下の通りです。

- 1) IoT 基本用語解説
- 2) 日本語の入力方法の習得
- 3) Web 検索法
- 4) ワードソフトの使い方（基本～応用 Word Pages）
- 5) 表計算ソフトの使い方（基礎～応用 Excel Numbers）
- 6) スライド作成ソフトの使い方（基礎～応用 PowerPoint Keynote）

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。私語ほか、他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

出席点と最終日に行う課題作成を持って評価します。ただし、講義の規定出席日数（3 分の 2）に満たない者は、課題作成の評価を行いません。出席点のみでは、単位を取得できませんので十分注意してください。

テキスト

PDF を事前配布します。

参考文献・図書

Web 検索にて iPad 関連の情報を参照。

オフィスアワーについて

曜日：

時間：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション IoT 関連用語の解説について学ぶ	理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	授業で解説した用語を説明できる	
2	授業内容	iPad の使用方法 1 iPad の日本語入力・辞書と多言語対応について学ぶ	iPad の文字入力法を腰周しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	iPad での日本語入力を説明できる	
3	授業内容	iPad の使用方法 2 Web 検索法について学ぶ	iPad の文字入力法を予習しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	多彩な検索オプションを使い Web から情報収集できる	
4	授業内容	iPad の使用方法 3 iPadOS 13.0 のインストールと操作解説	iPad の事前インストールを予習しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	iPad OS の新機能を説明できる	
5	授業内容	Word 基礎編 書式や段落等を学び基本的文書を作成する	Web での Word の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	書式や段落等を理解し基本的文書を作成できる	
6	授業内容	Word 応用編 表や写真、段組等を学び応用的文書を作成する	Web での Word の応用情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	表や写真、段組等を理解し応用的文書を作成できる	
7	授業内容	Pages 解説 Word と Pages の違いを学び書類を作成	Web での Pages の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	Word と Pages の違いを理解し書類を作成できる	
8	授業内容	Excel 基礎編 データ入力や書式設定等を学び基本的文書を作成する	Web での Excel の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	データ入力や書式設定等を理解し基本的文書を作成できる	
9	授業内容	Excel 応用編 シート機能やグラフ等を学び応用的文書を作成する	Web での Excel の応用情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	シート機能やグラフ等を理解し応用的文書を作成できる	
10	授業内容	Numbers 解説編 Excel と Numbers の違いを学び書類を作成する	Web での Numbers の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	Excel と Numbers の違いを理解し書類を作成できる	
11	授業内容	PowerPoint 基礎編 書式や段落、マスターを学び基本的文書を作成する	Web での PowerPoint の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	書式や段落、マスターを理解し基本的文書を作成できる	
12	授業内容	PowerPoint 応用編 アニメーションや動画を用い応用的文書を作成する	Web での PowerPoint の応用情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	アニメーションや動画を用い応用的文書を作成できる	
13	授業内容	Keynote 解説編 PowerPoint と Keynote の違いを学び書類を作成する	Web での Keynote の基本情報を検索しておく 理解度 PDF 作成し提出する
	到達目標	PowerPoint と Keynote の違いを理解し書類を作成できる	
14	授業内容	課題作成の説明と作成スキルの向上 課題作成に必要な素材収集とレイアウトを作成する	各文書作成法のおさらいをして おく 課題文書の草案を作成する
	到達目標	課題作成に必要な素材収集とレイアウトを作成できる	
15	授業内容	まとめ(課題作成) A4 一枚相当の課題文書を作成する	
	到達目標	効率よくデザイン性のある文書を作成できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	外国語	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	横田 良聡	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的							
基礎英単語や医療で用いられる用語を中心に、英語の理解を深めることを目的とします。							
到達目標							
医療系英単語を理解し、応用することができる。							
授業の内容							
1. 医学用語（英語）を中心に講義を行う。 2. 英語でコミュニケーション（ペア）を行う。 3. 毎回確認テストを行う。							
注意事項							
この授業は講義中心ですが、ペアで活動してもらうことがあります。積極的に参加してください。 授業を無断で退出・早退した場合や授業参加をしていない場合は、「欠席」となります。							
成績評価							
出席日数が授業日数の 2/3 に満たない場合は、期末試験の受験資格を失い単位を取得することはできません。 成績は期末試験にて評価し 60 点以上で合格となります。							
テキスト							
参考文献・図書							
鍼灸師・柔整師のための医学英語 中村清・中村辰三 医道の日本							
オフィスアワーについて							
曜日：							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 医学英単語・人体各部の名称・医療機関・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・医療機関の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・医療機関の単語がわかる	
2	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・医療機関・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・医療機関の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・医療機関の単語がわかる	
3	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・医療機関・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・医療機関の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・医療機関の単語がわかる	
4	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・鍼灸柔整用語がわかる	
5	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・鍼灸柔整用語がわかる	
6	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・鍼灸柔整用語がわかる	
7	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・鍼灸柔整用語がわかる	
8	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・鍼灸・柔整用語の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・鍼灸柔整用語がわかる	
9	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患・英会話について学ぶについて学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・病気・疾患がわかる	
10	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・病気・疾患がわかる	
11	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・病気・疾患の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・病気・疾患がわかる	
12	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・検査・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・検査の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・検査がわかる	
13	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・検査・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・検査の単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・検査がわかる	
14	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・カルテ・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・カルテの単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・カルテがわかる	
15	授業内容	医学英単語・人体各部の名称・カルテ・英会話について学ぶ	医学英単語・人体各部の名称・カルテの単語を復習しておく
	到達目標	医学英単語と人体各部の名称・カルテがわかる	

【授業シラバス】

科目名	健康指導法	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩内 和也	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的	
スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチングなど、スポーツ全般に関する認識を深めることを目的とする。	
到達目標	
スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチングなど、スポーツ全般に関する認識を深めるとともに、ライフステージに応じたスポーツの考え方、取り組み方を身につけ、健康社会の実現に寄与し、また個々人の健康課題の改善やスポーツライフスタイルの確立に貢献できる医療人となることを目標とする。	
授業の内容	
アスレチックトレーナーに必要となる、スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチング学などを学びます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。	
成績評価	
【評価について】 授業時数の3分の2以上出席したものを評価対象とします。 評価は期末試験（筆記試験）にて行います。	
テキスト	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	スポーツとは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツの起源、スポーツの意義と価値を説明できる	
2	授業内容	体力とトレーニング理論	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	体力の分類とトレーニング理論、筋肉の特徴と働きを説明できる	
3	授業内容	スポーツ指導者とは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツ指導者の心構え、スポーツ指導法を説明できる	
4	授業内容	コーチングとは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	コーチングとは何か、コーチングの目的を説明できる	
5	授業内容	ジュニア期のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	発育と発達、発育期の体格と体力、発達に応じたコーチングを説明できる	
6	授業内容	ジュニア期のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	動きの発達…機序と特徴、心の発達…認知的発達、社会的発達とスポーツの関係を説明できる	
7	授業内容	思春期・青年期のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	レクリエーションスポーツと競技スポーツ、思春期・青年期に必要な体力要素を説明できる	
8	授業内容	思春期・青年期のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	思春期・青年期に必要なトレーニング、実施上の留意点を説明できる	
9	授業内容	中高齢者のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	中高齢者のスポーツの現状、加齢にともなう身体の衰え、中高齢者に必要な体力要素を説明できる	
10	授業内容	中高齢者のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	中高齢者に必要なトレーニング、医療との連携、実施上の留意点を説明できる	
11	授業内容	女性とスポーツ①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	女性の身体的・体力的特徴、スポーツに関わって起こる女性特有の諸問題を説明できる	
12	授業内容	女性とスポーツ②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツを実施する上での留意点、月経とコンディショニングを説明できる	
13	授業内容	障害者とスポーツ①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	生涯・病気とは、障害とスポーツ、リハビリテーションとハビリテーションを説明できる	
14	授業内容	障害者とスポーツ②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	障害者に可能なトレーニング、医療との連携、実施上の留意点、障害者スポーツの歴史を説明できる	
15	授業内容	まとめ	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	健康社会の実現、スポーツライフスタイルの確立、スポーツ文化の構築、スポーツをみんなのものにを説明できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。							
到達目標							
1. 細胞や組織について説明できる。 2. 骨の構造を説明できる。 3. 骨とその各部分の名称を説明できる。 4. 骨と骨格筋の関係を説明できる。 5. 関節とその運動の仕組みを説明できる。 6. 関節における主要な靱帯について説明できる。							
授業の内容							
人体の最小単位である細胞の構造と機能にはじまり、組織、器官、個体について学習する。 また、生体の内部環境が安定に保たれる仕組みや人体の支柱をなす骨について各部位ごとに学習する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第 5 版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第 7 版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第 2 版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスアワーについて							
曜日： 時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	細胞の構造と機能、物質移動	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	細胞の構造と機能、物質移動のしくみについて理解する。	
2	授業内容	体液の組成と働き、組織	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体液の組成と働きや組織の構造や機能について理解する。	
3	授業内容	骨学総論	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	骨組織の構造や機能について理解する。	
4	授業内容	骨学の各論:上肢の骨①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢の骨の構造や機能について理解する。	
5	授業内容	骨学の各論:上肢の骨②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢の骨の構造や機能について理解する。	
6	授業内容	骨学の各論:上肢の骨③	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢の骨の構造や機能について理解する。	
7	授業内容	骨学の各論:下肢の骨①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢の骨の構造や機能について理解する。	
8	授業内容	骨学の各論:下肢の骨②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢の骨の構造や機能について理解する。	
9	授業内容	骨学の各論:下肢の骨③	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢の骨の構造や機能について理解する。	
10	授業内容	骨学の各論:体幹の骨①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の骨の構造や機能について理解する。	
11	授業内容	骨学の各論:体幹の骨②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の骨の構造や機能について理解する。	
12	授業内容	骨学の各論:体幹の骨③	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の骨の構造や機能について理解する。	
13	授業内容	骨学の各論:上肢帯および上肢の関節と靱帯	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢帯および上肢の関節と靱帯の構造や機能について理解する。	
14	授業内容	骨学の各論:下肢帯および下肢の関節と靱帯	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢帯および上肢の関節と靱帯の構造や機能について理解する。	
15	授業内容	まとめ(評価含む)	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅱ－１	単位数	１単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有・ 
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail		実施時期	１年	前期	

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。							
到達目標							
1. 筋の基本構造と機能について説明できる。 2. 筋の名称とその筋の起始停止作用について説明できる。 3. 骨格筋とその他の構造物との関係を説明できる。 4. 筋の局所解剖について説明できる。							
授業の内容							
人体における筋の種類および構造と働きについて学習する。 骨学と筋学の知識は、臨床でも極めて使用頻度が高いので十分な理解と習得が必要である。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスパワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 筋の構造と働き	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の構造について理解する。	
2	授業内容	筋の収縮の仕組み、筋のエネルギー供給の仕組み、筋学総論	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の収縮のメカニズムについて理解する。	
3	授業内容	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状、骨の復習	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状について理解する。	
4	授業内容	上肢の筋に関与する骨の復習	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢の筋に関与する骨について理解する。	
5	授業内容	小テスト① 肩甲骨と肩関節の動き、筋学の各論：浅胸筋、	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肩甲骨と肩関節の動き、浅胸筋について理解する。	
6	授業内容	筋学の各論：浅背筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	浅背筋について理解する。	
7	授業内容	筋学の各論：上肢帯の筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢帯の筋について理解する。	
8	授業内容	小テスト② 回旋筋腱板	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	回旋筋腱板について理解する。	
9	授業内容	筋学の各論：上腕の屈筋、伸筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上腕の屈筋、伸筋について理解する。	
10	授業内容	肘関節の動き、手関節の動き、前腕の屈筋①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肘関節の動き、手関節の動き、前腕の屈筋について理解する。	
11	授業内容	小テスト③ 筋学の各論：前腕の屈筋②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	前腕の屈筋について理解する。	
12	授業内容	小テスト④ 筋学の各論：前腕の伸筋①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	前腕の伸筋について理解する。	
13	授業内容	小テスト⑤ 筋学の各論：前腕の伸筋②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	前腕の伸筋について理解する。	
14	授業内容	試験対策授業	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅱ－2	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。							
到達目標							
1. 筋の基本構造と機能について説明できる。 2. 筋の名称とその筋の起始停止作用について説明できる。 3. 骨格筋とその他の構造物との関係を説明できる。 4. 筋の局所解剖について説明できる。							
授業の内容							
人体における筋の種類および構造と働きについて学習する。 骨学と筋学の知識は、臨床でも極めて使用頻度が高いので十分な理解と習得が必要である。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスパワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 筋①の復習	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋学①の復習	
2	授業内容	下肢の筋に関連する骨の復習	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢の筋に関連する骨の復習	
3	授業内容	筋学の各論：下肢帯の筋①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢帯の筋①について説明することができる。	
4	授業内容	筋学の各論：下肢帯の筋②と大腿の伸筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢帯の筋②と大腿の伸筋について説明することができる。	
5	授業内容	筋学の各論：大腿の内転筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の内転筋について説明することができる。	
6	授業内容	筋学の各論：大腿の屈筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の屈筋について説明することができる。	
7	授業内容	筋学の各論：下腿の伸筋と腓骨筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下腿の伸筋と腓骨筋について説明することができる。	
8	授業内容	筋学の各論：下腿の屈筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下腿の屈筋について説明することができる。	
9	授業内容	筋学の各論：体幹の筋（頭部・頸部）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋（頭部・頸部）について説明することができる。	
10	授業内容	筋学の各論：体幹の筋（腹部・横隔膜①）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋（腹部・横隔膜①）について説明することができる。	
11	授業内容	筋学の各論：体幹の筋（腹部・横隔膜②）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋（腹部・横隔膜②）について説明することができる。	
12	授業内容	筋学の各論：体幹の筋（背部の筋①）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋（背部の筋①）について説明することができる。	
13	授業内容	筋学の各論：体幹の筋（背部の筋②）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋（背部の筋②）について説明することができる。	
14	授業内容	筋学まとめ	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail		実施時期	1 年 後期		

授業の目的
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。
到達目標
1. 神経系の概要を説明できる。 2. 脊髄の構造、機能を説明できる。 3. 脳幹の構造、機能を説明できる。 4. 間脳の構造と機能を説明できる。 5. 小脳の構造と機能を説明できる。 6. 大脳の構造と機能を説明できる。 7. 伝導路について説明できる。
授業の内容
中枢神経系の正常構造と機能を学ぶ。
注意事項
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。
成績評価
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度・小テスト②期末試験
テキスト
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版
参考文献・図書
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店
オフィスアワーについて
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分
授業時間外の学習について
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 神経系の構成	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	神経系の構成を理解する。	
2	授業内容	神経線維の興奮と伝導①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	神経線維の興奮と伝導のしくみについて理解する。	
3	授業内容	神経線維の興奮と伝導②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	神経線維の興奮と伝導のしくみについて理解する。	
4	授業内容	興奮の伝達	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	興奮の伝達のしくみについて理解する。	
5	授業内容	脊髄	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄の構造と機能について理解する。	
6	授業内容	脳幹①（中脳・橋・延髄）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳幹の構造と機能について理解する。	
7	授業内容	脳幹②（中脳・橋・延髄）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳幹の構造と機能について理解する。	
8	授業内容	間脳（視床・視床下部）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	間脳（視床・視床下部）の構造と機能について理解する。	
9	授業内容	小脳	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小脳の構造と機能について理解する。	
10	授業内容	大脳	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大脳の構造と機能について理解する。	
11	授業内容	大脳	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大脳の構造と機能について理解する。	
12	授業内容	大脳	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大脳の構造と機能について理解する。	
13	授業内容	脳室・髄膜・脳波	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳室・髄膜・脳波の構造と機能について理解する。	
14	授業内容	伝導路	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	伝導路の構造と機能について理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能 IV	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail			実施時期	1 年	後期

授業の目的	
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では脳神経(頭蓋骨含む)、自律神経、反射の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。	
到達目標	
1. 頭蓋骨の構造と機能を理解する。 2. 各頭蓋骨の名称を理解する。 3. 脳神経の構造と機能を理解する。 4. 自律神経の構造と機能について理解する。 5. 自律神経反射のしくみについて理解する。	
授業の内容	
頭蓋骨および脳神経、自律神経の構造と機能について学習していく。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験	
テキスト	
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版	
参考文献・図書	
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店	
オフィスアワーについて	
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	頭蓋骨(脳頭蓋・顔面頭蓋)	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳頭蓋・顔面頭蓋の構造と機能について理解する。	
2	授業内容	頭蓋骨(頭蓋底)	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	頭蓋底の構造と機能について理解する。	
3	授業内容	頭蓋骨(各名称)	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	各頭蓋骨の名称の構造と機能について理解する。	
4	授業内容	脳神経 I・II	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 I・IIの構造と機能について理解する。	
5	授業内容	脳神経 III・IV	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 III・IVの構造と機能について理解する。	
6	授業内容	脳神経 V・VI	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 V・VIの構造と機能について理解する。	
7	授業内容	脳神経 VII・VIII	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 VII・VIIIの構造と機能について理解する。	
8	授業内容	脳神経 IX・X	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 IX・Xの構造と機能について理解する。	
9	授業内容	脳神経 XI・XII	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳神経 XI・XIIの構造と機能について理解する。	
10	授業内容	脳幹による運動の調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脳幹による運動の調節のしくみについて理解する。	
11	授業内容	自律神経	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	自律神経の構造と機能について理解する。	
12	授業内容	自律神経	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	自律神経の構造と機能について理解する。	
13	授業内容	自律神経反射	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	自律神経反射のしくみについて理解する。	
14	授業内容	自律神経反射	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	自律神経反射のしくみについて理解する。	
15	授業内容	まとめ(評価含む)	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅴ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	矢島 道子 加藤 雄士	E-mail			実施時期	1 年	後期

授業の目的	
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では体性神経系(α 運動ニューロン、神経筋接合部、運動調節、伸張反射、走行、筋支配なども含む)の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。	
到達目標	
1. 末梢神経の構造と機能について説明できる。 2. 末梢神経の走行について説明できる。 3. 末梢神経と筋の関係性について説明できる。 4. 末梢神経と運動の関係性について説明できる。	
授業の内容	
末梢神経の構造と機能について学習していく。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験	
テキスト	
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版	
参考文献・図書	
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店	
オフィスアワーについて	
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	末梢神経系の総論	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	末梢神経系の総論について理解する。	
2	授業内容	脊髄神経と筋（頸神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（頸神経叢）の構造と機能について理解する。	
3	授業内容	脊髄神経と筋（腕神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（腕神経叢）の構造と機能について理解する。	
4	授業内容	脊髄神経と筋（腕神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（腕神経叢）の構造と機能について理解する。	
5	授業内容	脊髄神経と筋（腕神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（腕神経叢）の構造と機能について理解する。	
6	授業内容	脊髄神経と筋（腰神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（腰神経叢）の構造と機能について理解する。	
7	授業内容	脊髄神経と筋（腰神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（腰神経叢）の構造と機能について理解する。	
8	授業内容	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）の構造と機能について理解する。	
9	授業内容	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）の構造と機能について理解する。	
10	授業内容	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	脊髄神経と筋（仙骨神経叢）の構造と機能について理解する。	
11	授業内容	骨格筋の神経支配	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	骨格筋の神経支配のしくみについて理解する。	
12	授業内容	骨格筋の神経支配	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	骨格筋の神経支配のしくみについて理解する。	
13	授業内容	運動の調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動の調節のしくみについて理解する。	
14	授業内容	運動の調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動の調節のしくみについて理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅵ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有 ・ 有
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	加藤 雄士	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この後期では泌消化器の構造と機能を前期で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。							
到達目標							
1. 血液、循環器の機能を説明できる。 2. 動脈・静脈の分岐を説明できる。 3. リンパの循環と免疫システムを説明できる。							
授業の内容							
循環器の構造と機能について学習する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスアワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	血液の組成と働き、血液型	
	到達目標	総論、血液の組成と機能を理解する。	
2	授業内容	線維素溶解、止血、血管壁の構造と吻合	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	血管の構造を理解する。	
3	授業内容	心臓の構造と働き①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	心臓の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	心臓の構造と働き②、血圧、圧受容器、脈拍	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	心臓の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	体循環、肺循環、上行大動脈、大動脈弓とその枝	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体循環と肺循環を理解する。	
6	授業内容	胸大動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
7	授業内容	腹大動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
8	授業内容	上肢の動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
9	授業内容	下肢の動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
10	授業内容	上下大静脈、皮静脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	静脈の名称と分岐、役割を理解する。	
11	授業内容	門脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	門脈の役割、機能を理解する。	
12	授業内容	リンパ系および免疫①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	リンパ液の機能と免疫システムを理解する。	
13	授業内容	リンパ系および免疫②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	リンパ液の機能と免疫システムを理解する。	
14	授業内容	まとめ	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	まとめ	
15	授業内容	まとめ②（評価含む）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅶ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有 ・ 有
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	加藤 雄士	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この後期では泌消化器の構造と機能を前期で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。							
到達目標							
1. 消化器系および腹膜の構造、機能を説明できる。 2. 消化吸収の過程を説明できる。 3. 消化吸収の調節機構を説明できる。							
授業の内容							
消化器の構造と機能について学習する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスアワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 消化器系（総論、口、咽頭）	
	到達目標	総論、口、咽頭の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	消化器系（食道、胃）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	食道、胃の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	消化器系（小腸、大腸）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸、大腸の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	消化器系（肝臓）①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	消化器系（肝臓）②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の構造と機能を理解する。	
6	授業内容	消化器系（胆嚢、膵臓）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	胆嚢、膵臓の構造と機能を理解する。	
7	授業内容	消化と吸収①（口腔内および胃内の消化）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	口腔内および胃内の消化のしくみを理解する。	
8	授業内容	消化と吸収②（小腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
9	授業内容	消化と吸収③（小腸内および大腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸内および大腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
10	授業内容	消化と吸収④（大腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
11	授業内容	消化と吸収⑤（排便、消化管ホルモン）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	排便、消化管ホルモンのしくみを理解する。	
12	授業内容	肝臓の働き	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の機能を理解する。	
13	授業内容	栄養と代謝①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	栄養素の働きを理解する。	
14	授業内容	栄養と代謝②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	栄養素の働きを理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【令和４年度 鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅷ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	加藤 雄士	E-mail			実施時期	2 年 前期	

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では呼吸器・内分泌系の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。							
到達目標							
1. 呼吸系の構造と機能について説明することができる。 2. 内分泌線の構造と機能について説明することができる。							
授業の内容							
呼吸器系（鼻～咽頭～喉頭～気管・気管支・肺）および内分泌系（ホルモン）について学習する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版社							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスアワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【令和４年度 鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	呼吸器総論・鼻腔・咽頭	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	鼻腔・咽頭の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	喉頭・気管	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	喉頭・気管の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	気管支・肺・胸膜	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	気管支・肺・胸膜の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	呼吸運動・肺機能	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸運動・肺機能のしくみを理解する。	
5	授業内容	ガス交換・呼吸運動の調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	ガス交換・呼吸運動の調節のしくみを理解する。	
6	授業内容	ホルモンの一般的特徴	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	ホルモンの一般的特徴のしくみを理解する。	
7	授業内容	視床下部、下垂体	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視床下部、下垂体の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	視床下部、下垂体	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視床下部、下垂体の構造と機能を理解する。	
9	授業内容	副腎	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	副腎の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	甲状腺、副甲状腺	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	甲状腺、副甲状腺	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	性腺（精巣および卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	性腺（精巣および卵巣）の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	性腺（精巣および卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	性腺（精巣および卵巣）の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	その他のホルモン	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	その他のホルモンの構造と機能を理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅸ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	加藤 雄士	E-mail		実施時期	2 年	前期	

授業の目的	
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では感覚器、伝導路の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。	
到達目標	
1. 皮膚感覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。2. 眼球および視覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。3. 外耳・中耳・内耳（聴覚・平衡覚系）について、構造と機能を統合的に説明できる 4. 嗅覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。5. 味覚系について、構造と機能を統合的に説明できる	
授業の内容	
感覚器の構造と機能、伝導路について学びます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験	
テキスト	
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版	
参考文献・図書	
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店	
オフィスアワーについて	
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 感覚の概論	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	感覚の概論について理解する。	
2	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
6	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
7	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
9	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	嗅覚器、味覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	嗅覚器、味覚器の構造と機能を理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅹ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有 ・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	加藤 雄士	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では泌尿・生殖器の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。							
到達目標							
1. 泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の構造と機能を説明できる。 2. 生殖器（精巣・精巣上体・精管・卵巣・卵管・子宮）の構造と機能を説明できる。							
授業の内容							
泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）および生殖器（精巣・精巣上体・精管・卵巣・卵管・子宮）について学習する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。 欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。 評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 『解剖学講義』 南山堂 3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂 4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院 5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社 6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店							
オフィスアワーについて							
曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 腎臓	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	腎臓	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	尿生成	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	尿生成のしくみについて理解する。	
4	授業内容	尿生成	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	尿生成のしくみについて理解する。	
5	授業内容	腎臓による体液調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓による体液調節のしくみについて理解する。	
6	授業内容	腎臓による体液調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓による体液調節のしくみについて理解する。	
7	授業内容	尿管・膀胱・尿道	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	蓄尿と排尿	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	蓄尿と排尿のしくみについて理解する。	
9	授業内容	男性生殖器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	男性生殖器の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	男性生殖器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	男性生殖器の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	女性生殖器（卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（卵巣）の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	女性生殖器（子宮）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（子宮）の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	女性生殖器（卵管、外生殖器）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（卵管、外生殖器）の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	受精と発生	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	受精と発生のしくみについて理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	運動学	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 有
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎	E-mail		実施時期	2 年	後期	

授業の目的							
この科目はスポーツを行うために必要な筋肉や関節の動きや身体の動作を解剖学, 生理学, 力学などから捉えて理解することを目的とします。							
到達目標							
身体各部の動きを構造と機能を通じて理解し述べることができる。							
授業の内容							
身体各部について構造と機能を復習しつつ運動についての理解を深める。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。 期末筆記試験での評価を行います。							
テキスト							
リハビリテーション医学 （東洋療法学校協会）							
参考文献・図書							
基礎運動学 （医歯薬出版社）							
オフィスアワーについて							
曜日：金曜日 時間：16 時 30 分～17 時 30 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 運動学とはどのような学問かについて学ぶ。	運動学の歴史や推移、現代の運動学や運動力学について復習をしておく。
	到達目標	運動学の概念を述べることができる。	
2	授業内容	関節と運動の力学、姿勢とその異常について学ぶ。	トルクやテコ、重心線、抗重力筋を復習をしておく。
	到達目標	身体のコ、重心・重心線を述べるができる。	
3	授業内容	運動路と感覚路、反射と随意運動について学ぶ。	伝導路について予習をしておく。
	到達目標	伝導路と各種反射を述べるができる。	
4	授業内容	脊柱・体幹の機能について学ぶ。	脊柱や胸郭に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	脊柱の運動の特徴、胸郭の動きを述べるができる。	
5	授業内容	肩甲帯・肩の機能について学ぶ。	肩に関わる構造を予習をしておく。肩甲上腕リズムを復習をしておく。
	到達目標	肩甲上腕リズムを述べるができる。	
6	授業内容	肘と前腕の機能について学ぶ。	肘に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、回内・回外を述べるができる。	
7	授業内容	手と手指の機能について学ぶ。	手に関わる構造を予習をしておく。 腱区画を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、腱区画、把持動作とアーチを述べるができる。	
8	授業内容	骨盤と股関節の機能について学ぶ。	骨盤と股関節に関わる構造を予習をしておく。 股関節の負荷と基準線を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、荷重線、殿部の基準線を述べるができる。	
9	授業内容	膝関節の機能について学ぶ。	膝に関わる構造を予習をしておく。荷重線や筋区画を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、荷重線、筋区画を述べるができる。	
10	授業内容	足の機能について学ぶ。	足部に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、アーチを述べるができる。	
11	授業内容	正常歩行について学ぶ。	下肢に関わる構造を予習をしておく。歩行周期を復習をしておく。
	到達目標	歩行の基礎と歩行周期を述べるができる。	
12	授業内容	異常歩行について学ぶ。	正常歩行を予習をしておく。
	到達目標	各疾患に特徴的な異常歩行を述べるができる。	
13	授業内容	表情筋・頭部について学ぶ。	頭顔面部に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、評価を述べるができる。	
14	授業内容	眼球運動について学ぶ。	眼球および外眼筋を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、特徴を述べるができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	病理学概論Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩 昌宏	E-mail		実施時期	2 年	前期	

授業の目的

1 年次において人体の正常構造や機能を系統的学んだ事をもとに病気の原因や病態などが考察でき、基礎・基本的な病理学的知識を習得することを目的にします。

到達目標

学んだ知識で疾患の成因や病態を述べることができる。

授業の内容

病理学の基礎、病因、循環障害、細胞傷害について学びます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。

期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

東洋療法学校協会「病理学概論」医歯薬出版社

参考文献・図書

「イラスト病理学」文光堂

「わかりやすい病理学」南江堂

オフィスアワーについて

曜日：金曜日

時間：16 時 30 分～17 時 30 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 病理学とはどのような学問かを学ぶ。	病理学を学ぶに当たり、人体の構造と機能を予習しておく。
	到達目標	病理学の定義や役割を述べることができる。	
2	授業内容	疾病についての基本的な考え方を学ぶ。	WHO の健康の定義を復習しておく。
	到達目標	疾病の概念、分類、症候と経過を述べることができる。	
3	授業内容	病因論の内因について学ぶ。	ライフステージや遺伝の基礎を予習しておく。
	到達目標	病因・内因の概念、素因、遺伝を述べることができる。	
4	授業内容	病因論の内因について学ぶ。	内分泌の概念、免疫の基礎を復習しておく。
	到達目標	内因のうち内分泌、免疫、心因性疾患を述べることができる	
5	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	三大栄養素やビタミン、ミネラルについて予習をしておく。
	到達目標	外因の概念、栄養素の過不足を述べることができる。	
6	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	物理的病因の種類について予習をしておく。中毒や環境汚染について予習をしておく。
	到達目標	物理的病因、化学的病因を述べることができる。	
7	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	病原体の種類について予習をしておく。
	到達目標	生物学的病因を述べることができる。	
8	授業内容	循環障害の基礎、充血、うっ血について学ぶ。	循環系、血液について予習をしておく。
	到達目標	定義、原因、機序、疾患を述べることができる。	
9	授業内容	循環障害の貧血、虚血について学ぶ。	循環系、血液について予習をしておく。
	到達目標	定義、原因、機序、疾患を述べることができる。	
10	授業内容	循環障害の出血、ショックについて学ぶ。	止血・線溶やそれに関わる因子の予習をしておく。
	到達目標	定義、種類、機序、疾患を述べることができる。	
11	授業内容	循環障害の血栓、塞栓について学ぶ。	止血・線溶やそれに関わる因子の復習をしておく。
	到達目標	定義、誘因、種類、転帰を述べることができる。	
12	授業内容	循環障害の梗塞、浮腫について学ぶ。	虚血、出血、循環系、血症膠質浸透圧について復習をしておく。
	到達目標	定義、原因、種類、機序を述べることができる。	
13	授業内容	細胞傷害と修復の萎縮と変性について学ぶ。	退行性病変について予習をしておく。
	到達目標	定義、分類を述べることができる。	
14	授業内容	細胞傷害と修復の壊死と死について学ぶ。	死について予習をしておく。
	到達目標	定義、分類、壊死とアポトーシスの違いを述べることができる	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	病理学概論Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩 昌宏	E-mail		実施時期	2 年	後期	

授業の目的

1 年時において人体の正常構造や機能を系統的学んだ事をもとに病気の原因や病態などが考察でき、基礎・基本的な病理学的知識を習得することを目的にします。

到達目標

学んだ知識で疾患の成因や病態を述べることができる。

授業の内容

病理学の細胞傷害と修復、炎症、免疫異常、腫瘍、先天性異常について学びます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。

期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

東洋療法学校協会「病理学概論」医歯薬出版社

参考文献・図書

「イラスト病理学」文光堂

「わかりやすい病理学」南江堂

オフィスアワーについて

曜日：金曜日

時間：16 時 30 分～17 時 30 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 肥大、増殖、再生、化生について学ぶ。	人体の主要組織についての予習 をしておく。
	到達目標	定義や種類、分類を述べることができる。	
2	授業内容	創傷治癒について学ぶ。	皮膚の構造と機能について予習 をしておく。
	到達目標	機序や肉芽組織、異物処理を述べるができる。	
3	授業内容	炎症の一般的な内容について学ぶ。	循環系と血球についての予習を しておく。
	到達目標	5大徴候、障害因子、プロセスを述べるができる。	
4	授業内容	炎症の分類について学ぶ。	感染症の全般について予習をし ておく。
	到達目標	種類や分類を述べるができる。	
5	授業内容	腫瘍の一般的な内容について学ぶ。	定義や構造、増殖様式などに ついて復習をしておく。
	到達目標	腫瘍の定義を述べるができる。	
6	授業内容	腫瘍の形態と構造や組織学的内容について学ぶ。	異型性、分化度について復習をし ておく。
	到達目標	腫瘍の特徴を述べるができる。	
7	授業内容	腫瘍の分類について学ぶ。	上皮性・非上皮性、良性・悪性そ れぞれの特徴や違いについて復 習をしておく。
	到達目標	発生母地による違い、悪性、良性を述べるができる。	
8	授業内容	腫瘍の発生機序や生体に及ぼす影響について学ぶ。	内因、外因、二段解説、TNM分類、 遺伝子、転移について復習をし ておく。
	到達目標	内因や外因、進行度を述べるができる。	
9	授業内容	免疫の基礎について学ぶ。	血球細胞の予習をしておく。 液性免疫と細胞性免疫について 復習をしておく。
	到達目標	免疫に携わる血球や免疫の概念を述べるができる。	
10	授業内容	アレルギーについて学ぶ。	それぞれのアレルギーの機序を 復習をしておく。
	到達目標	I～V型の特徴を述べるができる。	
11	授業内容	免疫不全、自己免疫疾患について学ぶ。	代表的な自己免疫疾患に関わる 抗体を復習をしておく。
	到達目標	種類や分類、抗体を述べるができる。	
12	授業内容	移植について学ぶ。	免疫の予習をしておく。
	到達目標	定義や種類、分類、拒絶反応を述べるができる。	
13	授業内容	先天性異常の代謝異常について学ぶ。	糖代謝異常、脂質代謝異常、蛋白 質代謝異常について復習をし ておく。
	到達目標	種類を述べるができる。	
14	授業内容	奇形、遺伝性疾患について学ぶ。	種類と特徴について復習をし ておく。
	到達目標	種類や特徴を述べるができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	半田 由美子	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的							
衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を習得し、一般的な衛生観念や公衆衛生を理解し習得します。また、今後行う診療過程においても十分に活かせるように学習することを目的とします。							
到達目標							
衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を習得しつつ、国家試験レベルの問題も理解する。							
授業の内容							
衛生学・公衆衛生学は1冊のテキストと毎時配布するプリントを用いて学習します。 また、国家試験出題頻度の高い項目は、実際に過去の問題を解くなどの作業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。							
成績評価							
評価は期末の筆記試験によって行いますが、授業中の態度および課題も評価します。							
テキスト							
「公衆衛生学がみえる」メディックメディア社							
参考文献・図書							
「衛生学・公衆衛生学」第2版 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社							
オフィスアワーについて							
曜日： 水曜日							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、衛生学・公衆衛生学の意義	衛生学・公衆衛生学の歴史を復習しておく。
	到達目標	衛生学・公衆衛生学の歴史が理解できる。	
2	授業内容	健康①	疾病予防の分類について復習しておく。
	到達目標	疾病予防について理解できる。	
3	授業内容	健康②（衛生行政）	衛生行政や法規について復習しておく。
	到達目標	衛生行政や法規について理解できる。	
4	授業内容	ライフスタイルと健康 ①	栄養および栄養の基準などを復習しておく。
	到達目標	栄養について理解できる。	
5	授業内容	ライフスタイルと健康 ②	栄養と健康、保健所の業務内容について復習しておく。
	到達目標	栄養と健康、保健所の業務内容について理解できる。	
6	授業内容	環境と健康①	環境（正常大気成分・大気汚染など）について復習しておく。
	到達目標	環境（正常大気成分・大気汚染など）について理解できる。	
7	授業内容	環境と健康②	環境（上水・下水・典型7公害）について復習しておく。
	到達目標	環境（上水・下水・典型7公害）について理解できる。	
8	授業内容	環境と健康③	現在問題となっている地球環境について復習しておく。
	到達目標	地球環境について理解できる。	
9	授業内容	産業保健①	労働衛生行政や3管理などを復習しておく。
	到達目標	労働衛生の3管理について理解できる。	
10	授業内容	産業保健②	職業病と原因物質について復習しておく。
	到達目標	職業病と原因について理解できる。	
11	授業内容	精神保健①	精神障害の症状や法規について復習しておく。
	到達目標	精神障害の症状や法規について理解できる。	
12	授業内容	精神保健②	精神保健の入院形態について復習しておく。
	到達目標	精神保健の入院形態が理解できる。	
13	授業内容	精神保健③	アルコール依存や発達障害など精神保健の諸問題および対策を復習しておく。
	到達目標	精神保健の諸問題を理解することができる。	
14	授業内容	まとめ①（評価を含む） 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	まとめ②（解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	半田 由美子	E-mail		実施時期	1 年	後期	

授業の目的							
衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を習得し、一般的な衛生観念や公衆衛生を理解し習得します。また、今後行う診療過程においても十分に活かせるように学習することを目的とします。							
到達目標							
衛生学・公衆衛生学の基本的な知識を習得しつつ、国家試験レベルの問題も理解する。							
授業の内容							
衛生学・公衆衛生学は1冊のテキストと毎時配布するプリントを用いて学習します。 また、国家試験出題頻度の高い項目は、実際に過去の問題を解くなどの作業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。							
成績評価							
評価は期末の筆記試験によって行いますが、授業中の態度および課題も評価します。							
テキスト							
「公衆衛生学がみえる」メディックメディア社							
参考文献・図書							
「衛生学・公衆衛生学」第2版 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社							
オフィスアワーについて							
曜日： 水曜日							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、衛生学・公衆衛生学の意義	衛生学・公衆衛生学の歴史を復習しておく。
	到達目標	衛生学・公衆衛生学の歴史が理解できる。	
2	授業内容	健康①	疾病予防の分類について復習しておく。
	到達目標	疾病予防について理解できる。	
3	授業内容	健康②（衛生行政）	衛生行政や法規について復習しておく。
	到達目標	衛生行政や法規について理解できる。	
4	授業内容	ライフスタイルと健康 ①	栄養および栄養の基準などを復習しておく。
	到達目標	栄養について理解できる。	
5	授業内容	ライフスタイルと健康 ②	栄養と健康、保健所の業務内容について復習しておく。
	到達目標	栄養と健康、保健所の業務内容について理解できる。	
6	授業内容	環境と健康①	環境（正常大気成分・大気汚染など）について復習しておく。
	到達目標	環境（正常大気成分・大気汚染など）について理解できる。	
7	授業内容	環境と健康②	環境（上水・下水・典型7公害）について復習しておく。
	到達目標	環境（上水・下水・典型7公害）について理解できる。	
8	授業内容	環境と健康③	現在問題となっている地球環境について復習しておく。
	到達目標	地球環境について理解できる。	
9	授業内容	産業保健①	労働衛生行政や3管理などを復習しておく。
	到達目標	労働衛生の3管理について理解できる。	
10	授業内容	産業保健②	職業病と原因物質について復習しておく。
	到達目標	職業病と原因について理解できる。	
11	授業内容	精神保健①	精神障害の症状や法規について復習しておく。
	到達目標	精神障害の症状や法規について理解できる。	
12	授業内容	精神保健②	精神保健の入院形態について復習しておく。
	到達目標	精神保健の入院形態が理解できる。	
13	授業内容	精神保健③	アルコール依存や発達障害など精神保健の諸問題および対策を復習しておく。
	到達目標	精神保健の諸問題を理解することができる。	
14	授業内容	まとめ①（評価を含む） 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	まとめ②（解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎 中村 沙樹	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的	
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは整形外科疾患を修得します。	
到達目標	
整形外科疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
授業の内容	
整形外科領域の疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。	
テキスト	
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編	
配付資料	
参考文献・図書	
適宜知らせる。	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 整形外科とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	整形外科についてどのような疾患について勉強するかを予習しておく。
	到達目標	整形外科領域の選ばれた疾患を理解し、説明できる。	
2	授業内容	医療面接、視診、打診、聴診、触診を理解する。	医療面接について予習しておく。
	到達目標	医療面接、視診、打診、聴診、触診を理解し、説明できる。	
3	授業内容	身体測定、生命徴候、神経系の検査、運動機能検査を理解する。	生命徴候について予習しておく。 身体測定について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	整外に関する臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	関節疾患（肩関節周囲炎、変形性関節症）を理解する。	肩関節周囲炎、変形性関節症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	骨代謝疾患・骨腫瘍（骨粗鬆症、くる病、骨腫瘍）を理解する。	骨粗鬆症について予習しておく。 骨代謝について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	筋・腱疾患（腱鞘炎、筋肉炎・筋膜炎、腱板損傷）を理解する。	筋腱疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	形態異常Ⅰ（先天性股関節脱臼、斜頸、側弯症）を理解する。	先天性股関節脱臼について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	形態異常Ⅱ・脊椎疾患Ⅰ（外反母趾、内反足、椎間板ヘルニア）を理解する。	椎間板ヘルニアについて復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	脊椎疾患Ⅱ（後縦靱帯骨化症、脊椎分離すべり症、変形性脊椎症）を理解する。	本講義の脊椎疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	脊椎疾患Ⅲ（腰椎症、頸椎捻挫、むちうち症）を理解する。	本講義の脊椎疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	外傷（骨折、脱臼、捻挫、スポーツ外傷・障害）を理解する。	外傷について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	その他Ⅰ（胸郭出口症候群、頸腕症候群、ガングリオン）を理解する。	胸郭出口症候群、頸腕症候群、ガングリオンについて復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	その他Ⅱ（手根管症候群、麻酔法、救急処置）を理解する。	手根管症候群について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎 中村 沙樹	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的	
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは循環器疾患・血液疾患を修得します。	
到達目標	
循環器疾患及び血液疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
授業の内容	
循環器及び血液の疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。	
テキスト	
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編	
配付資料	
参考文献・図書	
適宜、指示する。	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 循環器・血液疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	循環器・血液疾患について復習しておく。
	到達目標	循環器・血液疾患領域の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	循環器・血液疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	循環器・血液疾患に特有な身体測定、生命徴候、神経系の検査、運動機能検査を理解する。	特有な身体測定、生命徴候について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	循環器・血液疾患に関する臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	循環器・血液疾患に関する臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	心臓疾患Ⅰ（先天性心疾患、心臓弁膜症）を理解する。	先天性心疾患、心臓弁膜症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	心臓疾患Ⅱ（特発性心筋症、心筋炎）を理解する。	特発性心筋症、心筋炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	心臓疾患Ⅱ・冠動脈疾患Ⅰ（心不全）を理解する。	心不全について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	冠動脈疾患Ⅱ（狭心症、心筋梗塞）を理解する。	狭心症、心筋梗塞について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	動静脈疾患Ⅰ（動脈硬化症、真性大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症）を理解する。	動脈硬化症、真性大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	動静脈疾患Ⅱ（バージャー病、大動脈炎症候群、静脈瘤、血栓性静脈炎）を理解する。	バージャー病、大動脈炎症候群、静脈瘤、血栓性静脈について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	赤血球疾患（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血）を理解する。	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	白血球疾患（急性白血病、慢性白血症、成人T細胞性白血病）を理解する。	急性白血病、慢性白血症、成人T細胞性白血病について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	リンパ網内系疾患（悪性リンパ腫）を理解する。	悪性リンパ腫について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	出血性素因（紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群）を理解する。	紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎 中村 沙樹	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的	
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは感染症疾患・消化器疾患を修得します。	
到達目標	
感染症疾患及び消化器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
授業の内容	
感染症及び消化器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。	
テキスト	
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編	
配付資料	
参考文献・図書	
適宜、指示する。	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 感染症・消化器疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	感染症・消化器疾患について復習しておく。
	到達目標	感染症・消化器疾患領域の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	感染症・消化器疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	感染性疾患Ⅰ（細菌感染症１）を理解する。	本講義の細菌感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	感染性疾患Ⅱ（細菌性感染症２）を理解する。	本講義の細菌感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	感染性疾患Ⅲ（ウイルス感染症１）を理解する。	ウイルス感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	感染性疾患Ⅳ（ウイルス感染症２）を理解する。	ウイルス感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	消化器疾患Ⅰ（口腔、食道、胃疾患）を理解する。	口腔、食道、胃疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	消化器疾患Ⅱ（胃疾患）を理解する。	本講義の胃疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	消化器疾患Ⅲ（腸疾患）を理解する。	腸疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	消化器疾患Ⅳ（肝臓疾患１）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	消化器疾患Ⅴ（肝臓疾患２）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	消化器疾患Ⅵ（肝臓疾患３）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	消化器疾患Ⅶ（胆道疾患）を理解する。	胆道疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	消化器疾患Ⅷ（膵臓疾患）を理解する。	膵臓疾患の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎 中村 沙樹	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的	
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは神経疾患・呼吸器疾患を修得します。	
到達目標	
神経疾患及び呼吸器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
授業の内容	
神経疾患及び呼吸器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。	
テキスト	
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編	
配付資料	
参考文献・図書	
適宜、指示する。	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 神経疾患・呼吸器疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	神経疾患・呼吸器疾患について復習しておく。
	到達目標	神経疾患・呼吸器疾患の大まかな特徴および疾患を理解し説明できる	
2	授業内容	神経疾患・呼吸器疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	神経・筋疾患Ⅰ（脳血管疾患１）を理解する。	本講義の脳血管疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	神経・筋疾患Ⅱ（脳血管疾患２）を理解する。	本講義の脳血管疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	神経・筋疾患Ⅲ（感染性疾患・変性疾患を理解する。）	感染性疾患・変性疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	神経・筋疾患Ⅳ（認知症）を理解する。	認知症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	神経・筋疾患Ⅵ（筋疾患・運動ニューロン疾患）を理解する。	筋疾患・運動ニューロン疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	神経・筋疾患Ⅶ（末梢神経疾患）を理解する。	末梢神経疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅰ（感染性肺疾患）を理解する。	感染性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅱ（閉塞性肺疾患１）を理解する。	本講義の閉塞性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅲ（閉塞性肺疾患２）を理解する。	本講義の閉塞性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅳ（びまん性肺疾患・腫瘍性疾患）を理解する。	びまん性肺疾患・腫瘍性疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅴ（その他肺疾患１）を理解する。	本講義の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅵ（その他肺疾患２）を理解する。	本講義の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅴ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎 中村 沙樹	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を修得します。
到達目標
代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。
授業の内容
代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。
注意事項
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。
成績評価
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。
テキスト
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編 配付資料
参考文献・図書
適宜、指示する。
オフィスアワーについて
曜日：
時間： 時 分～ 時 分
授業時間外の学習について
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患について復習しておく。
	到達目標	代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患の大まかな特徴および疾患を理解し説明できる	
2	授業内容	代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅰ（糖代謝異常１）を理解する。	本講義の糖代謝異常について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅱ（糖代謝異常２）を理解する。	本講義の糖代謝異常について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅲ（脂質・尿酸代謝異常）を理解する。	脂質・尿酸代謝異常について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅳ（その他の代謝異常）を理解する。	本講義の糖代謝異常について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	内分泌疾患Ⅰ（下垂体疾患１）を理解する。	本講義の下垂体疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	内分泌疾患Ⅱ（下垂体疾患２）を理解する。	本講義の下垂体疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	内分泌疾患Ⅲ（甲状腺疾患１）を理解する。	本講義の甲状腺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	内分泌疾患Ⅳ（甲状腺疾患２）を理解する。	本講義の甲状腺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	内分泌疾患Ⅰ（副腎疾患）を理解する。	副腎疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	自己免疫疾患Ⅰ（膠原病と類縁疾患１）を理解する。	本講義の膠原病と類縁疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	自己免疫疾患２（膠原病と類縁疾患２）を理解する。	本講義の膠原病と類縁疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	自己免疫疾患３（膠原病と類縁疾患３）を理解する。	本講義の膠原病と類縁疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学論Ⅵ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	丸茂 栄士郎	E-mail		実施時期	2 年	後期	

授業の目的							
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。この I では泌尿器疾患・眼科・精神疾患を修得します。							
到達目標							
泌尿器疾患・眼科・精神疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。							
授業の内容							
泌尿器疾患・眼科・精神疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。							
テキスト							
臨床医学総論。臨床医学各論。 微用療法学校協会編							
配付資料							
参考文献・図書							
適宜知らせる。							
オフィスアワーについて							
曜日：							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 泌尿器疾患・眼科・精神疾患とは 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	泌尿器疾患・眼科・精神疾患について復習しておく。
	到達目標	泌尿器疾患・眼科・精神疾患の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	泌尿器疾患・眼科・精神疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	泌尿器疾患・眼科・精神疾患に特有な特殊検査、臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	特有な特殊検査、臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅰ（糸球体腎炎１）を理解する。	本講義の糸球体腎炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅱ（糸球体腎炎２）を理解する。	本講義の糸球体腎炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅲ（腎不全・感染症）を理解する。	腎不全・感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅳ（腫瘍性疾患・結石症）を理解する。	腫瘍性疾患・結石症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅴ（前立腺疾患）を理解する。	前立腺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅰ（眼疾患１）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅱ（眼疾患２）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅲ（眼疾患３）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅰ（統合失調症・単極性、双極性障害）を理解する。	統合失調症・単極性、双極性障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅱ（不安障害・摂食障害）を理解する。	不安障害・摂食障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅲ（取障害・その他）を理解する。	取障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅶ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	伊藤 千展	E-mail		実施時期	2 年	後期	

授業の目的							
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を修得します。							
到達目標							
婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。							
授業の内容							
婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。							
テキスト							
臨床医学総論。臨床医学各論。 微用療法学校協会編							
配付資料							
参考文献・図書							
適宜知らせる。							
オフィスアワーについて							
曜日：							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患とは 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患について復習しておく。
	到達目標	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患に特有な特殊検査、臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	特有な特殊検査、臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅰ（女性生殖器１）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅱ（女性生殖器２）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅲ（女性生殖器３）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅰ（耳鼻咽喉疾患１）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅱ（耳鼻咽喉疾患２）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅲ（耳鼻咽喉疾患３）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅳ（皮膚疾患１）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅴ（皮膚疾患２）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅵ（皮膚疾患３）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅰ（小児疾患１）を理解する。	本講義の小児疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅱ（小児疾患２）を理解する。	本講義の小児疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	医療概論	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	15 時間				
実務経験内容							
担当者	浅田 忠	E-mail		実施時期	1 年	後期	

授業の目的							
医学史を始め、医の倫理、患者の人権、終末医療、社会保障などの現代医療に関する基本的な概念を医療概論として学び修得することを目的とします。							
到達目標							
医療概論の基本的な知識を習得しつつ、国家試験レベルの問題も理解する。							
授業の内容							
医療概論は1冊のテキストと毎時配布するプリントを用いて学習します。 また、国家試験出題頻度の高い項目は、実際に過去の問題を解くなどの作業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。							
成績評価							
評価は期末の筆記試験によって行いますが、授業中の態度および課題（小テスト）も評価します。							
テキスト							
「公衆衛生学がみえる」メディックメディア社							
参考文献・図書							
「医療概論」東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社							
オフィスアワーについて							
曜日：							
時間：							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、医学史	医学の歴史を復習しておく。
	到達目標	東洋・西洋医学の歴史について理解できる。	
2	授業内容	医の倫理患者の人権①	医の倫理について述べている宣言を復習しておく。
	到達目標	医の倫理について述べている宣言を理解できる。	
3	授業内容	医の倫理患者の人権②	各医療従事者の役割・臓器移植法について復習しておく。
	到達目標	各医療従事者の役割・臓器移植法について理解できる。	
4	授業内容	終末医療と死の概念①	ターミナルケアについて定義など復習しておく。
	到達目標	ターミナルケアについて理解できる。	
5	授業内容	終末医療と死の概念②	終末医療（安楽死・尊厳死）について定義など復習しておく。
	到達目標	安楽死・尊厳死について理解できる。	
6	授業内容	医療法と医療体制①	医療法について復習しておく。
	到達目標	医療法について理解できる。	
7	授業内容	医療法と医療体制②	医療法（医療計画など）・チーム医療・救急医療について復習しておく。
	到達目標	医療法（医療計画など）チーム医療・救急医療について理解できる	
8	授業内容	まとめ（評価含む）	本学習の内容について再度確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	鍼灸理論Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 半田 由美子 小田原 崇文	E-mail			実施時期	1 年	前期

授業の目的							
はり・きゅうの基礎を理解し、各実技においてそれぞれの元に行えることを目的とします。また、一部はり理論、きゅう理論の基礎も含み学修していきます。							
到達目標							
はり・きゅうの基本的な知識を習得しつつ、はりきゅう理論の基礎的なレベルの問題も理解する。							
授業の内容							
はりきゅう基礎学は3冊のテキストと毎時配布するプリントを用いて学習します。 また、国家試験出題頻度の高い項目は、実際に過去の問題を解くなどの作業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。 また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。							
成績評価							
評価は期末の筆記試験によって行いますが、毎回の確認テスト、提出物、出席および授業態度による総合的な評価を行います。							
テキスト							
「はりきゅう実技（基礎編）」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「はりきゅう理論」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「鍼灸医療安全ガイドライン」 鍼灸安全委員会 医歯薬出版株式会社							
参考文献・図書							
「はりきゅう基礎技術学」有馬 義貴著 南江堂 「図解鍼灸臨床手技マニュアル」尾崎 昭弘著 医歯薬出版株式会社							
オフィスアワーについて							
曜日： 曜日 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	鍼の基礎知識（片手挿管法）・灸の基礎知識 ①	鍼の基礎知識・灸の基礎知識を復習しておく。
	到達目標	はりの名称や材質、はりやきゅうの製造過程がわかる。	
2	授業内容	鍼の基礎知識（片手挿管法）・灸の基礎知識 ②	刺鍼の方式と術式について復習しておく。
	到達目標	はりの名称や材質、はりやきゅうの製造過程がわかる。	
3	授業内容	刺鍼の方式と術式（旋撚法・打鍼法・管鍼法・揉撚法・切皮・押手）、角度 ①	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）について復習しておく。
	到達目標	刺鍼の方式と術式、角度が理解できる。	
4	授業内容	刺鍼の方式と術式（旋撚法・打鍼法・管鍼法・揉撚法・切皮・押手）、角度 ②	刺鍼中の 17 手技について復習しておく。
	到達目標	刺鍼の方式と術式、角度が理解できる。	
5	授業内容	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）①	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）について復習しておく。
	到達目標	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）が理解できる。	
6	授業内容	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）②	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）について復習しておく。
	到達目標	施灸の方法（有痕灸・無痕灸）が理解できる。	
7	授業内容	刺鍼中の手技①（17 手技）	刺鍼中の 17 手技について復習しておく。
	到達目標	刺鍼中の手技①が理解できる。	
8	授業内容	刺鍼中の手技②（17 手技）	刺鍼中の 17 手技について復習しておく。
	到達目標	刺鍼中の手技①が理解できる。	
9	授業内容	古代九鍼①	古代九鍼について復習しておく。
	到達目標	古代九鍼について理解できる。	
10	授業内容	古代九鍼②	古代九鍼について復習しておく。
	到達目標	古代九鍼について理解できる。	
11	授業内容	衛生的手洗い・鍼や器具の洗浄・滅菌方法①	衛生的手洗い・鍼や器具の滅菌方法について復習しておく。
	到達目標	衛生的手洗い・鍼や器具の滅菌方法について理解できる。	
12	授業内容	まとめ 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	課題または動画内容を理解しているか確認する。	
13	授業内容	理解度チェック	課題または動画内容を理解しているか、チェックし、間違っているところを復習する。
	到達目標	課題または動画内容を理解しているか確認する。	
14	授業内容	まとめ 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	まとめ（評価を含む） 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	経絡経穴概論Ⅰ	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	㊦ ・ 無
		時間数	60 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 松岡 憲二	E-mail		実施時期	1 年	前期	

授業の目的							
14経絡の流れを理解し、各経絡における主要経穴を理解するとともに、経穴の取穴方法を習得することを目的とします。更には経穴の持つ意義や奇穴、要穴なども学習し、臨床応用に結びつける能力を養成します。							
到達目標							
取穴実技で、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを理解することができる。 国家試験問題に慣れておくことを目的とする。							
授業の内容							
スライド・ipad を用いて授業を行います。 14経絡の流れを理解する。 各経絡における主要経穴を理解し、取穴方法を習得する。 経穴の持つ意義、奇穴、要穴などを学習する。							
注意事項							
授業中に配られた資料（ipad）や教科書は、毎回持参すること。							
成績評価							
授業時間数の 2 /3 以上の出席 学期末に行う筆記試験による評価を行う。							
テキスト							
「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本							
参考文献・図書							
オフィスアワーについて							
曜日： 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 督脈	督脈を暗唱する。 督脈の流注を復習する。
	到達目標	督脈の流注を理解する。	
2	授業内容	督脈 督脈の流注を学ぶ。	督脈を暗唱する。 督脈の流注を復習する。
	到達目標	督脈の流注を理解する。	
3	授業内容	任脈 任脈の流注を学ぶ。	任脈を暗唱する。 任脈の流注を復習する。
	到達目標	任脈の流注を理解する。	
4	授業内容	任脈 任脈の流注を学ぶ。	任脈を暗唱する。 任脈の流注を復習する。
	到達目標	任脈の流注を理解する。	
5	授業内容	手の太陰肺経 手の太陰肺経の流注を学ぶ。	手の太陰肺経を暗唱する。 手の太陰肺経の流注を復習する。
	到達目標	手の太陰肺経の流注を理解する。	
6	授業内容	手の太陰肺経 手の太陰肺経の流注を学ぶ。	手の太陰肺経を暗唱する。 手の太陰肺経の流注を復習する。
	到達目標	手の太陰肺経の流注を理解する。	
7	授業内容	手の陽明大腸経 手の陽明大腸経の流注を学ぶ。	手の陽明大腸経を暗唱する。 手の陽明大腸経の流注を復習する。
	到達目標	手の陽明大腸経の流注を理解する。	
8	授業内容	手の陽明大腸経 手の陽明大腸経の流注を学ぶ。	手の陽明大腸経を暗唱する。 手の陽明大腸経の流注を復習する。
	到達目標	手の陽明大腸経の流注を理解する。	
9	授業内容	足の陽明胃経 足の陽明胃経の流注を学ぶ。	足の陽明胃経を暗唱する。 足の陽明胃経の流注を復習する。
	到達目標	足の陽明胃経の流注を理解する。	
10	授業内容	足の陽明胃経 足の陽明胃経の流注を学ぶ。	足の陽明胃経を暗唱する。 足の陽明胃経の流注を復習する。
	到達目標	足の陽明胃経の流注を理解する。	
11	授業内容	足の陽明胃経 足の陽明胃経の流注を学ぶ。	足の陽明胃経を暗唱する。 足の陽明胃経の流注を復習する。
	到達目標	足の陽明胃経の流注を理解する。	
12	授業内容	足の太陰脾経 足の太陰脾経の流注を学ぶ。	足の太陰脾経を暗唱する。 足の太陰脾経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陰脾経の流注を理解する。	
13	授業内容	足の太陰脾経 足の太陰脾経の流注を学ぶ。	足の太陰脾経を暗唱する。 足の太陰脾経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陰脾経の流注を理解する。	
14	授業内容	足の太陰脾経 足の太陰脾経の流注を学ぶ。	足の太陰脾経を暗唱する。 足の太陰脾経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陰脾経の流注を理解する。	
15	授業内容	手の少陰心経 手の少陰心経の流注を学ぶ。	手の少陰心経を暗唱する。 手の少陰心経の流注を復習する。
	到達目標	手の少陰心経の流注を理解する。	

【鍼灸学科授業シラバス】

16	授業内容	手の少陰心経 手の少陰心経の流注を学ぶ。	手の少陰心経を暗唱する。 手の少陰心経の流注を復習する。
	到達目標	手の少陰心経の流注を理解する。	
17	授業内容	手の太陽小腸経 手の太陽小腸経の流注を学ぶ。	手の太陽小腸経を暗唱する。 手の太陽小腸経の流注を復習する。
	到達目標	手の太陽小腸経の流注を理解する。	
18	授業内容	手の太陽小腸経 手の太陽小腸経の流注を学ぶ。	手の太陽小腸経を暗唱する。 手の太陽小腸経の流注を復習する。
	到達目標	手の太陽小腸経の流注を理解する。	
19	授業内容	手の太陽小腸経 手の太陽小腸経の流注を学ぶ。	手の太陽小腸経を暗唱する。 手の太陽小腸経の流注を復習する。
	到達目標	手の太陽小腸経の流注を理解する。	
20	授業内容	足の太陽膀胱経(頭部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
21	授業内容	足の太陽膀胱経(頭部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
22	授業内容	足の太陽膀胱経(背部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
23	授業内容	足の太陽膀胱経(背部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
24	授業内容	足の太陽膀胱経(背部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
25	授業内容	足の太陽膀胱経(背部) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
26	授業内容	足の太陽膀胱経(下肢) 足の太陽膀胱経の流注を学ぶ。	足の太陽膀胱経を暗唱する。 足の太陽膀胱経の流注を復習する。
	到達目標	足の太陽膀胱経の流注を理解する。	
27	授業内容	まとめ	総復習
	到達目標	総復習	
28	授業内容	まとめ	総復習
	到達目標	総復習	
29	授業内容	まとめ	総復習
	到達目標	総復習	
30	授業内容	まとめ 評価含む	まとめ
	到達目標	まとめ	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	経絡経穴概論Ⅱ	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	60 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 松岡 憲二	E-mail		実施時期	1 年	前期	

授業の目的	
14経絡の流れを理解し、各経絡における主要経穴を理解するとともに、経穴の取穴方法を習得することを目的とします。更には経穴の持つ意義や奇穴、要穴なども学習し、臨床応用に結びつける能力を養成します。	
到達目標	
取穴実技で、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを理解することができる。 国家試験問題に慣れておくことを目的とする。	
授業の内容	
スライド・ipad を用いて授業を行います。 14経絡の流れを理解する。 各経絡における主要経穴を理解し、取穴方法を習得する。 経穴の持つ意義、奇穴、要穴などを学習する。	
注意事項	
授業中に配られた資料（ipad）や教科書は、毎回持参すること。	
成績評価	
授業時間数の 2 /3 以上の出席 学期末に行う筆記試験による評価を行う。	
テキスト	
「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	足の少陰腎経 足の少陰腎経の流注を学ぶ。	足の少陰腎経を暗唱する。 足の少陰腎経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陰腎経の流注を理解する。	
2	授業内容	足の少陰腎経 足の少陰腎経の流注を学ぶ。	足の少陰腎経を暗唱する。 足の少陰腎経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陰腎経の流注を理解する。	
3	授業内容	足の少陰腎経 足の少陰腎経の流注を学ぶ。	足の少陰腎経を暗唱する。 足の少陰腎経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陰腎経の流注を理解する。	
4	授業内容	手の厥陰心包経 手の厥陰心包経の流注を学ぶ。	手の厥陰心包経を暗唱する。 手の厥陰心包経の流注を復習する。
	到達目標	手の厥陰心包経の流注を理解する。	
5	授業内容	手の厥陰心包経 手の厥陰心包経の流注を学ぶ。	手の厥陰心包経を暗唱する。 手の厥陰心包経の流注を復習する。
	到達目標	手の厥陰心包経の流注を理解する。	
6	授業内容	手の厥陰心包経 手の厥陰心包経の流注を学ぶ。	手の厥陰心包経を暗唱する。 手の厥陰心包経の流注を復習する。
	到達目標	手の厥陰心包経の流注を理解する。	
7	授業内容	手の少陽三焦経 手の少陽三焦経の流注を学ぶ。	手の少陽三焦経を暗唱する。 手の少陽三焦経の流注を復習する。
	到達目標	手の少陽三焦経を理解する。	
8	授業内容	手の少陽三焦経 手の少陽三焦経の流注を学ぶ。	手の少陽三焦経を暗唱する。 手の少陽三焦経の流注を復習する。
	到達目標	手の少陽三焦経を理解する。	
9	授業内容	手の少陽三焦経 手の少陽三焦経の流注を学ぶ。	手の少陽三焦経を暗唱する。 手の少陽三焦経の流注を復習する。
	到達目標	手の少陽三焦経を理解する。	
10	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	
11	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	
12	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	
13	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	
14	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	
15	授業内容	足の少陽胆経 足の少陽胆経を学ぶ。	足の少陽胆経を暗唱する。 足の少陽胆経の流注を復習する。
	到達目標	足の少陽胆経の流注を理解する。	

【鍼灸学科授業シラバス】

16	授業内容	足の厥陰肝経 足の厥陰肝経の流注を学ぶ。	足の厥陰肝経を暗唱する。 足の厥陰肝経の流注を復習する。
	到達目標	足の厥陰肝経の流注を理解する。	
17	授業内容	足の厥陰肝経 足の厥陰肝経の流注を学ぶ。	足の厥陰肝経を暗唱する。 足の厥陰肝経の流注を復習する。
	到達目標	足の厥陰肝経の流注を理解する。	
18	授業内容	足の厥陰肝経 足の厥陰肝経の流注を学ぶ。	足の厥陰肝経を暗唱する。 足の厥陰肝経の流注を復習する。
	到達目標	足の厥陰肝経の流注を理解する。	
19	授業内容	奇経八脈 奇経八脈を学ぶ。	奇経八脈を暗唱する。 奇経八脈の流注を復習する。
	到達目標	奇経八脈を理解する。	
20	授業内容	奇経八脈 奇経八脈を学ぶ。	奇経八脈を暗唱する。 奇経八脈の流注を復習する。
	到達目標	奇経八脈を理解する。	
21	授業内容	奇経八脈 奇経八脈を学ぶ。	奇経八脈を暗唱する。 奇経八脈の流注を復習する。
	到達目標	奇経八脈を理解する。	
22	授業内容	奇経八脈 奇経八脈を学ぶ。	奇経八脈を暗唱する。 奇経八脈の流注を復習する。
	到達目標	奇経八脈を理解する。を理解する。	
23	授業内容	奇経八脈 奇経八脈を学ぶ。	奇経八脈を暗唱する。 奇経八脈の流注を復習する。
	到達目標	奇経八脈を理解する。を理解する。	
24	授業内容	奇穴 奇穴を学ぶ。	奇穴を暗唱する。 奇穴を復習する。
	到達目標	奇穴を理解する。	
25	授業内容	奇穴 奇穴を学ぶ。	奇穴を暗唱する。 奇穴を復習する。
	到達目標	奇穴を理解する。	
26	授業内容	奇穴 奇穴を学ぶ。	奇穴を暗唱する。 奇穴を復習する。
	到達目標	奇穴を理解する。	
27	授業内容	要穴 要穴を学ぶ。	要穴を暗唱する。 要穴を復習する。
	到達目標	要穴を理解する。	
28	授業内容	紛らわしい経穴 紛らわしい経穴を学ぶ。	紛らわしい経穴を復習する。
	到達目標	紛らわしい経穴を理解する。	
29	授業内容	背部・前胸部・腹部・仙骨孔部の経穴を学ぶ。	背部・前胸部・腹部・仙骨孔部の経穴を復習する。
	到達目標	総復習	
30	授業内容	まとめ 評価含む	まとめ
	到達目標	まとめ	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学概論Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 半田 由美子 小田原 崇文	E-mail		実施時期	1 年 前期		

授業の目的	
東洋医学の概念、思想を理解し、気・血・津液の生理、陰・陽論、五行・臓腑理論の概念をもとに身体の仕組みを学ぶことを目的としています。	
到達目標	
東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。	
授業の内容	
スライド・ipad を用いて授業を行います。	
注意事項	
授業中に配られた資料（ipad）や教科書は、毎回持参すること。	
成績評価	
授業時間数の 2 /3 以上の出席 学期末に行う筆記試験による評価を行う。	
テキスト	
「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 東洋医学の沿革・治療について（四診）	東洋医学の沿革・治療について復習する。
	到達目標	東洋医学の沿革・治療について理解する。	
2	授業内容	東洋医学の歴史について（天人合一思想） 人体の見方・東洋医学的治療について	東洋医学の歴史・人体の見方・東洋医学的治療についてについて復習する。
	到達目標	東洋医学の歴史について理解する。	
3	授業内容	人体の見方・東洋医学的治療について（補瀉）	人体の見方・東洋医学的治療について復習する。
	到達目標	人体の見方・東洋医学的治療について理解する。	
4	授業内容	人体の見方・東洋医学的治療について（古代九鍼）	人体の見方・東洋医学的治療について復習する。
	到達目標	人体の見方・東洋医学的治療について理解する。	
5	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（精）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
6	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（気）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
7	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（血）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
8	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（血）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
9	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（血）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
10	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（津液）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
11	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（津液）	精・気・血・津液について復習する。
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
12	授業内容	生体物質：精・気・血・津液について（神）	精・気・血・津液について復習する。（神）
	到達目標	精・気・血・津液について理解する。	
13	授業内容	五臓について	五臓について復習する。
	到達目標	五臓について理解する。	
14	授業内容	脈・舌について	脈・舌について復習する。
	到達目標	脈・舌について理解する。	
15	授業内容	まとめ	まとめ
	到達目標	まとめ	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学概論Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 半田 由美子 小田原 崇文	E-mail		実施時期	1 年 後期		

授業の目的	
東洋医学の概念、思想を理解し、気・血・津液の生理、陰・陽論、五行・臓腑理論の概念をもとに身体の仕組みを学ぶことを目的としています。 Ⅰで学んだ生体の生理・病理を基礎とし、診断法、その解釈、治法へ至る考え方を理解し、それぞれの理論に基づいた概念を修得していくことを目的とします。	
到達目標	
東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。	
授業の内容	
スライド・ipad を用いて授業を行います。	
注意事項	
授業中に配られた資料（ipad）や教科書は、毎回持参すること。	
成績評価	
授業時間数の 2 /3 以上の出席 学期末に行う筆記試験による評価を行う。	
テキスト	
「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 陰陽学説について	陰陽学説について復習する。
	到達目標	陰陽学説について理解する。	
2	授業内容	陰陽学説について	陰陽学説について復習する。
	到達目標	陰陽学説について理解する。	
3	授業内容	陰陽学説について	陰陽学説について復習する。
	到達目標	陰陽学説について理解する。	
4	授業内容	蔵象学説について（肝）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
5	授業内容	蔵象学説について（肝）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
6	授業内容	蔵象学説について（心）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
7	授業内容	蔵象学説について（心）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
8	授業内容	蔵象学説について（脾）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
9	授業内容	蔵象学説について（脾）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
10	授業内容	蔵象学説について（肺）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
11	授業内容	蔵象学説について（肺）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
12	授業内容	蔵象学説について（腎）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
13	授業内容	蔵象学説について（腎）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
14	授業内容	蔵象学説について（三焦）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	
15	授業内容	蔵象学説について（三焦）	蔵象学説について復習する。
	到達目標	蔵象学説について理解する。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学概論Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 半田 由美子 小田原 崇文	E-mail		実施時期	1 年	後期	

授業の目的	
I・II学んだ生体の生理・病理を基礎とし、診断法、その解釈、治法へ至る考え方を理解し、それぞれの理論に基づいた概念を修得していくことを目的とします。	
到達目標	
東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。 東洋医学の思想・四診・弁証論治を理解する。	
授業の内容	
スライド・ipad を用いて授業を行います。	
注意事項	
授業中に配られた資料（ipad）や教科書は、毎回持参すること。	
成績評価	
授業時間数の 2 /3 以上の出席 学期末に行う筆記試験による評価を行う。	
テキスト	
「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 陰陽学説について	陰陽学説を復習する。
	到達目標	陰陽学説について理解する。	
2	授業内容	陰陽学説について	陰陽学説を復習する。
	到達目標	陰陽学説について理解する。	
3	授業内容	五行学説について①	五行学説を復習する。
	到達目標	五行学説について理解する。	
4	授業内容	五行学説について②	五行学説を復習する。
	到達目標	五行学説について理解する。	
5	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）望診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
6	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）望診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
7	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）聞診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
8	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）聞診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
9	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）問診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
10	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）問診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
11	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）切診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
12	授業内容	四診について（望診・聞診・問診・切診）切診	四診を復習する。
	到達目標	四診について理解する。	
13	授業内容	弁証論治について	弁証論治を復習する。
	到達目標	弁証論治について理解する。	
14	授業内容	弁証論治について	弁証論治を復習する。
	到達目標	弁証論治について理解する。	
15	授業内容	まとめ①	まとめ
	到達目標	まとめ	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学概論Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	㊟ ・ 無
		時間数	3 0 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 田口 敬太	E-mail		実施時期	2 年	前期	

授業の目的	
東洋医学概論では東洋医学の基本的な病態生理を学び、東洋医学臨床論ではその理論に基づく病態把握を理解しました。この科目では更に、中国医学に基づいた弁証論治を学び、東洋医学的鍼灸診療に応用することを学び、修得することを目的とします。	
到達目標	
生理物質、臓腑の生理と病理を理解し、弁証論治の手順に従って病証の把握から治療方法の選択まで導き出すことが出来る。	
授業の内容	
東洋医学概論の復習を中心に、弁証論治に必要な知識の整理と理解を深めていきます。 患者さんを意識して人を診れる鍼灸師を目指します。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
・ 総授業時間数の 2/3 以上出席したものを評価対象とします。 ・ 無断での途中退出についても 欠席扱い とします。 ・ 期末に筆記試験を行い、60%以上で単位が認定されます	
テキスト	
・ 東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」	
参考文献・図書	
・ 鍼灸学「基礎編」日中共同編集／東洋学術出版	
オフィスアワーについて	
曜日： 水曜日 時間： 授業終了後	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 弁証論治とは 病因論	病因論の復習
	到達目標	弁証の立て方 病因論が理解できる	
2	授業内容	四診の復習	四診の復習
	到達目標	弁証に必要な情報収集ができる	
3	授業内容	八綱弁証の復習	八綱の復習
	到達目標	表裏・寒熱・虚実が理解できる	
4	授業内容	気血津液弁証の復習	気血津液の復習
	到達目標	気血津液の生理と病理が理解できる	
5	授業内容	四診・八綱・病因・気血津液のまとめ	今までの授業資料の復習
	到達目標	気血津液弁証までの道筋が理解できる	
6	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
7	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
8	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
9	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
10	授業内容	論治と治則	治則について復習する
	到達目標	治療方針について理解する	
11	授業内容	穴性・選穴	難行六十九難について復習する
	到達目標	選穴について理解する	
12	授業内容	弁証論治の進めかたと証の決定 手順を確認し、証と治療方法の決め方を学ぶ	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
13	授業内容	弁証論治 症例における実践 1. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
14	授業内容	弁証論治 症例における実践 2. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅰ-1	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	○ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		季鍼灸院勤務					
担当者	宮本 直	E-mail		実施時期	2 年	前期	

授業の目的							
鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患を中心に、それぞれの疾患・症候の概念と鍼灸治療の適否の判断、診察法と治療方針、治療穴の選択までを学びます。今後の臨床実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに向けて、基本的な診察法（医療面接・視診・触診・徒手検査）と鍼灸治療の方法を修得することを目的とします。また、この科目は東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる科目で問題数も最多となっています。その中心的な科目となりますので、対応する実習と合わせてしっかりと学んでください。							
到達目標							
① 疾患・症候の概要を理解する。 ② 疾患の特異的な症状について述べるができる。 ③ 疾患・症候の病態を把握するために必要な検査とそれぞれに対する適切な治療穴が選択できる。							
授業の内容							
鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い疾患・症候の概要、診察法、治療方法についてスライドを中心に解説していきます。配布した資料に書き込みながら知識を定着させてください。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。							
成績評価							
1. 受験資格について：総授業時間数の <u>2/3 以上の出席</u> が必要です。 2. 成績評価について：期末評価にて 60 点以上で合格とします。							
テキスト							
「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」東洋療法学校協会編、鍼灸臨床コアテキスト、配布資料。							
参考文献・図書							
臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、関連授業の資料など。							
オフィスアワーについて							
曜日：水曜日（午後・夜間）、金曜日（午前）※メールでの質問などは随時							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問してください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 頸肩腕痛：頸から上肢にかけての痛み、しびれをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	頸肩腕の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頸から上肢に痛みをきたす疾患とその診察法を理解する	
2	授業内容	頸肩腕痛：頸から上肢にかけての痛み、しびれをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	頸肩腕の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頸から上肢に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
3	授業内容	頸肩腕痛：頸から上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	頸肩腕痛東洋医学的な考え方、東洋医学概論について予習・復習する
	到達目標	頸肩腕痛をきたす疾患の東洋医学的診察・治療を理解する	
4	授業内容	上肢痛：上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	上肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	上肢痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
5	授業内容	上肢痛：上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	上肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	上肢痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
6	授業内容	肩関節痛：肩に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	肩関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	肩関節痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
7	授業内容	肩関節痛：肩に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	肩関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	肩関節痛をきたす疾患の東洋医学的診察・治療を理解する	
8	授業内容	関節痛：関節に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋・東洋医学）	関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	関節に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
9	授業内容	絞扼神経障害：絞扼神経障害の種類と原因疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）	絞扼神経障害の疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	絞扼神経障害が起こる疾患の概要と診察法を理解する	
10	授業内容	腰下肢痛：腰下肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	腰下肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰下肢痛に対する診察法、治療法について理解する	
11	授業内容	腰下肢痛：腰下肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰下肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰下肢痛に対する東洋医学的診察・治療を理解する	
12	授業内容	腰痛：腰の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰痛に対する診察法、治療法について理解する	
13	授業内容	腰痛：腰の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰痛に対する東洋医学的診察・治療を理解する	
14	授業内容	まとめ、国家試験問題による復習	1～13 コマ目の内容について復習する（国家試験問題を中心に）
	到達目標	病態の捉え方と一連の流れを修得する	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	臨床で遭遇する主要な疾患に対応できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅰ-2	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	○ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		季鍼灸院勤務					
担当者	宮本 直	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的							
鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患を中心に、それぞれの疾患・症候の概念と鍼灸治療の適否の判断、診察法と治療方針、治療穴の選択までを学びます。今後の臨床実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに向けて、基本的な診察法（医療面接・視診・触診・徒手検査）と鍼灸治療の方法を修得することを目的とします。また、この科目は東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる科目で問題数も最多となっています。その中心的な科目となりますので、対応する実習と合わせてしっかりと学んでください。							
到達目標							
① 疾患・症候の概要を理解する。 ② 疾患の特異的な症状について述べるができる。 ③ 疾患・症候の病態を把握するために必要な検査とそれぞれに対する適切な治療穴が選択できる。							
授業の内容							
鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い疾患・症候の概要、診察法、治療方法についてスライドを中心に解説していきます。配布した資料に書き込みながら知識を定着させてください。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。							
成績評価							
1. 受験資格について：総授業時間数の 2/3 以上の出席 が必要です。 2. 成績評価について：期末評価にて 60 点以上で合格とします。							
テキスト							
「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」東洋療法学校協会編、鍼灸臨床コアテキスト、配布資料。							
参考文献・図書							
臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、関連授業の資料など。							
オフィスアワーについて							
曜日：水曜日（午後・夜間）、金曜日（午前）※メールでの質問などは随時							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問してください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 下肢痛：下肢に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	下肢の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	下肢に痛みをきたす疾患とその診察法を理解する	
2	授業内容	下肢痛：下肢に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	下肢の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	下肢に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
3	授業内容	膝痛：膝に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	膝痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	膝痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
4	授業内容	膝痛：膝に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	膝痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	膝痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
5	授業内容	歩行異常：歩行異常の種類と原因疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	歩行異常をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	歩行異常をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
6	授業内容	スポーツ傷害に対する鍼灸治療の考え方と疾患のまとめ	スポーツ傷害の定義、分類やスポーツ鍼灸の考え方について予習・復習する
	到達目標	スポーツ傷害に対する鍼灸治療の考え方を理解する	
7	授業内容	頭痛：頭痛をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	頭痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頭痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
8	授業内容	頭痛：頭痛をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	頭痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頭痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
9	授業内容	顔面痛・顔面麻痺：顔に痛みと麻痺をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	顔面痛・麻痺をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	顔に異常が起こる疾患の概要と診察法を理解する	
10	授業内容	胸痛：胸の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	胸痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	胸痛をきたす疾患の診察法、治療法について理解する	
11	授業内容	運動器疾患・症候のまとめ、国家試験問題による復習①	前期の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の確認、復習と鍼灸治療を習得する	
12	授業内容	運動器疾患・症候のまとめ、国家試験問題による復習②	1～5 コマ目の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の方法、鍼灸治療を習得する	
13	授業内容	スポーツ鍼灸のまとめ、国家試験問題による復習③	スポーツ傷害の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の方法、鍼灸治療を習得する	
14	授業内容	その他の疾患についてのまとめ、国家試験問題による復習④	7～10 コマ目の内容について復習する
	到達目標	病態の捉え方と一連の流れを修得する	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	臨床で遭遇する主要な疾患に対応できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅱ－１	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	㊦ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	福田 文彦	E-mail		実施時期	2 年	後期	

授業の目的

飽食の現代、様々な消化器を中心とする内科疾患や、空気の汚染やアレルギー物質による呼吸器系疾患、さらには自己免疫が異常に働いてしまう自己免疫疾患などが増加しています。この科目では、特に内科疾患を東洋医学の観念を含み、診察から治療までを学習し、その西洋・東洋医学的観点からの病態把握と治療法を修得することを目的とします。

到達目標

内科系（消化器・呼吸器領域）疾患に対する現代医学的・東洋医学的な疾患概念・診察・治療について学び、臨床現場で適切に対応できる。

授業の内容

1. 授業方法は、教科書・板書・プリントを用いて講義形式で行います。
 2. 各項目のまとめとして、国家試験過去問を解いて解説をします。
 3. 自学自習（予習・復習）には教科書・プリントを活用してください。
- なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

期末試験（100 点満点）で評価します。単位認定は 60 点以上です。

テキスト

「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」 東洋療法学校協会編
「鍼灸診療コアテキスト」 明治東洋医学院専門学校編

参考文献・図書

『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学 改訂版』 西村書店
『内科診断学 第3版』 医学書院
『病気がみえる（消化器）第5版』、『病気がみえる（呼吸器）第3版』 泰山堂書店

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 消化器系の症候・疾患の概要	消化器系の症候・疾患の概要について復習して下さい。
	到達目標	消化器系の症候・疾患の概要について理解できる。	
2	授業内容	上腹部痛	上腹部痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	上腹部痛の病態と治療について理解できる。	
3	授業内容	下腹部痛	下腹部痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	下腹部痛の病態と治療について理解できる。	
4	授業内容	悪心・嘔吐	悪心・嘔吐について予習・復習して下さい。
	到達目標	悪心・嘔吐の病態と治療について理解できる。	
5	授業内容	便秘	便秘について予習・復習して下さい。
	到達目標	便秘の病態と治療について理解できる。	
6	授業内容	下痢	下痢について予習・復習して下さい。
	到達目標	下痢の病態と治療について理解できる。	
7	授業内容	呼吸器の症候・疾患の概要	呼吸器の症候・疾患の概要について復習して下さい。
	到達目標	呼吸器の症候・疾患の概要について理解できる。	
8	授業内容	咳嗽	咳嗽について予習・復習して下さい。
	到達目標	咳嗽の病態と治療について理解できる。	
9	授業内容	喘息	喘息について予習・復習して下さい。
	到達目標	喘息の病態と治療について理解できる。	
10	授業内容	喀痰	喀痰について予習・復習して下さい。
	到達目標	喀痰の病態と治療について理解できる。	
11	授業内容	呼吸困難（閉塞性肺疾患）	呼吸困難（閉塞性肺疾患）について予習・復習して下さい。
	到達目標	呼吸困難（閉塞性肺疾患）の病態と治療について理解できる。	
12	授業内容	呼吸困難（拘束性肺疾患）	呼吸困難（拘束性肺疾患）について予習・復習して下さい。
	到達目標	呼吸困難（拘束性肺疾患）の病態と治療について理解できる。	
13	授業内容	動悸・息切れ	動悸・息切れについて予習・復習して下さい。
	到達目標	動悸・息切れの病態と治療について理解できる。	
14	授業内容	胸痛	胸痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	胸痛の病態と治療について理解できる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	本授業で学んだことを復習しておいて下さい。
	到達目標	内科系の症候・疾患の病態と治療について理解できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅰ (健美鍼灸論基礎)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	高野 道代	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的

美容の基礎は心身の健康であり、健美鍼灸と名称させて頂く。

本科目では美容鍼灸の臨床で必要となる、美容鍼灸臨床の現状、アンチエイジングの世界、美容基礎知識、診療する際の注意事項（予約の対応から、問診、施術、治療後指導など）、美容鍼灸専用カルテ記載の一部、全身の気血を巡らすための全身治療、症状による施術方法、美容鍼灸を行う上でコラボレーション可能なアロマセラピー、エステティックの一部、ホスピタリティスキルのなかで美容の基礎知識について学修を行う。

到達目標

- ・健美鍼灸(美容鍼灸)の実際(研究なども含)について説明できる。
- ・美容皮膚科基礎について説明できる。
- ・化粧品・マナーセラピーについて概説できる。

授業の内容

美容鍼灸の現状、基礎知識を学修することによって健美鍼灸へ応用することを学ぶ。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

評価は期末の筆記試験によって行います。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 健美鍼灸の概念について説明できる。	
2	授業内容	美容領域の現状①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容領域の現状について説明できる。	
3	授業内容	美容鍼灸の現状②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ アンチエイジングについて説明できる。	
4	授業内容	美容鍼灸の現状①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容鍼灸の現状について説明できる。	
5	授業内容	美容鍼灸の現状②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容鍼灸の現状について説明できる。	
6	授業内容	顔面部の構造①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 顔面部の構造について説明できる。	
7	授業内容	顔面部の構造②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 顔面部の構造について説明できる。	
8	授業内容	美容皮膚科学①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
9	授業内容	美容皮膚科学②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
10	授業内容	美容皮膚科学③	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
11	授業内容	美容皮膚科学④	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
12	授業内容	化粧品科学①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 化粧品科学について説明できる。	
13	授業内容	化粧品科学②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 化粧品科学について説明できる。	
14	授業内容	マナーセラピー	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ マナーセラピーについて説明できる。	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅰ (健康スポーツ鍼灸論基礎)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	秋津 知宏	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的	
臨床鍼灸学応用は、スポーツに特化した人体の構造と機能や運動機能学について学習していく。 人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。	
到達目標	
1) ヒトのスポーツ・運動と筋肉系、呼吸器系、循環器系、ホルモン系（代謝系）との関係が説明できる。 2) 競技者の解剖学的、生理学的特徴が説明できる。	
授業の内容	
「ヒトの動き」および「運動の構造」の成り立ちを理解し、運動および動きの評価の基礎を学習することによって、実践的運動理論をスポーツ選手への実践・指導へ応用することを学ぶ。 運動に用いられる運動器のしくみとその働き（機能解剖）を理解し、そこから運動（動き）の一連および局面の構造をバイオメカニクスの観点での検討・学習をする。またこれは、種々の競技動作について検討・学習する	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
本授業での 2/3 以上の出席を学期末試験の受験資格とします。成績は学期末試験で評価します。	
テキスト	
1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院 2. 復帰を目指すスポーツ整形外科 メジカルビュー 宗田大 3. 『生理学テキスト第 7 版』 文光堂 4. スポーツ鍼灸の実践 最新の理論と実践 医道の日本社 福林徹 宮本俊和	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（予習：30 分、復習：30 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	筋の構造と働き	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の構造と働きについて説明することができる。	
2	授業内容	筋の収縮の仕組み、筋のエネルギー供給の仕組み、筋学総論	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の収縮の仕組み、筋のエネルギー供給の仕組み、筋学総論について説明することができる。	
3	授業内容	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状について説明することができる。	
4	授業内容	運動と循環器系	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動時における循環について説明することができる。	
5	授業内容	運動と呼吸	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸のメカニズムが説明することができる。	
6	授業内容	運動とホルモン	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動中の代謝調節およびホルモンについて説明することができる。	
7	授業内容	神経系の役割	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	神経系の構造と役割が説明できる。	
8	授業内容	上肢の筋に関与する骨、下肢の筋に関与する骨	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢、下肢の筋に関与する骨について説明することができる。	
9	授業内容	浅胸筋、浅背筋、上肢帯の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	浅胸筋、浅背筋、上肢帯の筋について説明することができる。	
10	授業内容	上腕の屈筋、伸筋、前腕の屈筋、前腕の伸筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上腕の屈筋、伸筋、前腕の屈筋、前腕の伸筋について説明することができる。	
11	授業内容	下肢帯の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢帯の筋について説明することができる。	
12	授業内容	大腿の伸筋、大腿の内転筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の伸筋、大腿の内転筋について説明することができる。	
13	授業内容	大腿の屈筋、下腿の伸筋と腓骨筋、下腿の屈筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の屈筋、下腿の伸筋と腓骨筋、下腿の屈筋について説明することができる。	
14	授業内容	体幹の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋について説明することができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅰ (医療連携鍼灸論基礎)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	福田 文彦	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的

現代の日本社会における“はり師・きゅう師”の役割には、現代医学を補完する役割があり、そのためには医療連携は必要です。鍼灸医療を取り巻く様々な医療環境、エビデンスに基づく医療などの基礎知識の修得とともにはり・きゅう治療がどのように医療連携(補完医療)するのかを学び考えます。

到達目標

- ・はり・きゅう治療に必要な知識、医療・介護連携が説明できる。
- ・はり・きゅう師が行える補完療法について説明できる。

授業の内容

はり・きゅう治療は、現代西洋医学的治療と併用して補完医療として行われる場合が多い。本科目では補完医療として行うはり・きゅう治療に必要な知識、医療・介護連携、はり・きゅう師が行える補完療法について学修する。

注意事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

評価は期末の筆記試験によって行います。

テキスト

自作の資料

参考文献・図書

オフィスアワーについて

直接もしくはメールによりアポイントメントをとっていただくことによって、随時対応します。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		
2	授業内容	補完代替療法・統合医療とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・補完代替療法・統合医療について説明できる。	
3	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：総論	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な知識・技術について説明できる。	
4	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：薬物療法・薬物療法の副作用について	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な薬物療法・薬物療法の副作用についてについて概説できる。	
5	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：画像診断について	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な画像診断についてについて概説できる。	
6	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：医師・看護師とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な医師・看護師についてについて概説できる。	
7	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：理学療法士・他医療職種とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な理学療法士・他医療職種についてについて概説できる。	
8	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：介護職とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な介護職についてについて概説できる。	
9	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：病院内でのはり・きゅう治療	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な病院内でのはり・きゅう治療についてについて概説できる。	
10	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：地域医療・在宅医療・災害現場でのはり・きゅう治療	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な地域医療・在宅医療・災害現場でのはり・きゅう治療についてについて概説できる。	
11	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：登録販売	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な登録販売についてについて概説できる。	
12	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：アロマセラピー	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なアロマセラピーについてについて概説できる。	
13	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：ヨガ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なヨガについてについて概説できる。	
14	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：マインドフルネス	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なマインドフルネスについてについて概	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	はり実技Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊦ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中村 沙樹 丸茂 栄士郎 矢島 道子	E-mail		実施時期	1 年	前期	

授業の目的	
鍼術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身や相手の身体に対し安全に施術することができ、また医療人としての衛生概念も養う事を目的とする。	
到達目標	
人体の指定複数部位に指定の角度と深度で、適切な施術手順、手技、消毒法にて施鍼が指定時間内に安全に行う事ができる。	
授業の内容	
刺鍼練習台を用いて刺鍼の練習を行う。 一連の流れを刺鍼練習台で行う。 消毒法を学ぶ。自身の下肢で消毒から刺鍼を行う。	
注意事項	
必要な物：白衣またはケーシー、学生証（胸ポケットにつける）、鍼具、刺鍼練習台 消毒用アルコール、綿花、ヒビスコール 白衣、鍼具の貸し借りは減点の対象とする。	
成績評価	
受験資格は授業時間数の 4 / 5 以上の出席とする。 評価は学期末試験にて行う。	
テキスト	
「はりきゅう実技（基礎編）」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「はりきゅう理論」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「鍼灸医療安全ガイドライン」尾崎昭弘・坂本 歩編集 医歯薬出版株式会社	
参考文献・図書	
「感染防止の指針」鍼灸治療における安全性ガイドライン委員会編 医歯薬出版株式会社 「図解鍼灸臨床手技マニュアル」尾崎昭弘著 医歯薬出版株式会社	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 鍼の名称と形状、両手挿管法を学ぶ。	鍼の名称と形状を復習する。 両手挿管法を練習する。
	到達目標	鍼の名称と形状を理解し、両手挿管法ができる。	
2	授業内容	押手（満月・半月）・押手圧（上下圧・左右圧・周囲圧）を学ぶ。身体各部の押手を学ぶ。	押手・押手圧を復習する。 押手を理解し、身体各部の押手を練習する。
	到達目標	押手を理解し、身体各部で正しい押手ができる。	
3	授業内容	切皮・弾入を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、切皮を学ぶ。	切皮・弾入を復習する。 切皮・弾入を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	切皮を理解し、刺鍼練習台で正しい切皮ができる。	
4	授業内容	揉捻法（前揉法・後揉法）を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、揉捻法を学ぶ。	揉捻法を復習する。 前揉法・後揉法を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	揉捻法を理解し、刺鍼練習台で正しい揉捻法ができる。	
5	授業内容	刺入（送り込み刺法・旋捻刺法）を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、刺入を学ぶ。	刺入を復習する。 送り込み刺法・旋捻刺法を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺入を理解し、刺鍼練習台で正しい揉捻法ができる。	
6	授業内容	片手挿管法を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、刺鍼に必要な一連の流れを学ぶ。	片手挿管法を復習する。 刺鍼に必要な一連の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	片手挿管法を理解し、正しい片手挿管法ができる。	
7	授業内容	刺入角度（直刺・斜刺・横刺）を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、刺入角度を学ぶ。	刺入角度を復習する。 直刺・斜刺・横刺を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺入角度を理解し、刺鍼練習台で正しい刺入角度ができる。	
8	授業内容	消毒法（事前消毒・事後消毒）を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、消毒法を学ぶ。	消毒法を復習する。 事前消毒・事後消毒を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	消毒法を理解し、刺鍼練習台で正しい消毒法ができる。	
9	授業内容	刺入、片手挿管法、刺入角度、消毒法の復習 刺鍼練習台を使用して、刺鍼に必要な一連の流れを学ぶ。	刺入、片手挿管法、刺入角度、消毒法を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	一連の流れを理解し、刺鍼練習台で正しい刺鍼ができる。	
10	授業内容	17手技を学ぶ。 刺鍼練習台を使用して、17手技を学ぶ。	17手技を復習する。 17手技を理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	17手技を理解し、刺鍼練習台で正しい刺鍼ができる。	
11	授業内容	自身の下肢（大腿部）への刺鍼を学ぶ。（切皮） 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、自身の下肢で正しい刺鍼ができる。	
12	授業内容	自身の下肢（下腿部）への刺鍼を学ぶ。 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、自身の下肢で正しい刺鍼ができる。	
13	授業内容	自身の下肢（足三里）への刺鍼を学ぶ。（指サック） 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、自身の下肢で正しい刺鍼ができる。	
14	授業内容	自身の下肢（足三里）への刺鍼を学ぶ。（まとめ） 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、自身の下肢で正しい刺鍼ができる。	
15	授業内容	まとめ（評価） 期末試験	前期の内容の確認。 引き続き練習してください。
	到達目標	本授業の内容を修得する。	

※ 授業の進行上、内容は前後する場合があります。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	はり実技Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中村 沙樹 丸茂 栄士郎 矢島 道子	E-mail		実施時期	1 年 後期		

授業の目的	
鍼術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身や相手の身体に対し安全に施術することができ、また医療人としての衛生概念も養う事を目的とする。	
到達目標	
人体の指定複数部位に指定の角度と深度で、適切な施術手順、手技、消毒法にて施鍼が指定時間内に安全に行う事ができる。	
授業の内容	
消毒法を学ぶ。自身の下肢で消毒から刺鍼を行う。 一連の流れを刺鍼練習台で行う。 肩部、背部、腰部など様々な部位への鍼を行う。(ペア)	
注意事項	
必要な物：白衣またはケーシー、学生証（胸ポケットにつける）、鍼具 消毒用アルコール、綿花、ヒビスコール 鍼具の貸し借りは減点の対象とする。 ※実技室使用における注意事項を厳守しない場合は減点とする。	
成績評価	
受験資格は授業時間数の 4 / 5 以上の出席とする。 評価は学期末試験にて行う。	
テキスト	
「はりきゅう実技（基礎編）」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「はりきゅう理論」東洋療法学校協会編 医道の日本社 「鍼灸医療安全ガイドライン」尾崎昭弘・坂本 歩編集 医歯薬出版株式会社	
参考文献・図書	
「感染防止の指針」鍼灸治療における安全性ガイドライン委員会編 医歯薬出版株式会社 「図解鍼灸臨床手技マニュアル」尾崎昭弘著 医歯薬出版株式会社	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 自身の下肢（足三里）への刺鍼の復習。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、自身の下肢で正しい刺鍼ができる。	
2	授業内容	患者扱い（タオル・施術姿勢）を学ぶ。 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	患者扱い（タオル・施術姿勢）を復習する。
	到達目標	患者扱いを理解し、正しい施術姿勢ができる。	
3	授業内容	ペアの前腕への刺鍼を学ぶ。（切皮） ペアの前腕に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの前腕で正しい刺鍼ができる。	
4	授業内容	ペアの上肢への刺鍼を学ぶ。 ペアの上肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの上肢で正しい刺鍼ができる。	
5	授業内容	ペアの上肢への刺鍼を学ぶ。 ペアの上肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの上肢で正しい刺鍼ができる。	
6	授業内容	ペアの腰部への刺鍼を学ぶ。 ペアの腰部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの腰部で正しい刺鍼ができる。	
7	授業内容	ペアの腰部への刺鍼を学ぶ。 ペアの腰部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの腰部で正しい刺鍼ができる。	
8	授業内容	ペアの肩部への刺鍼を学ぶ。 ペアの肩部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの肩部で正しい刺鍼ができる。	
9	授業内容	ペアの頸部への刺鍼を学ぶ。 ペアの頸部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの頸部で正しい刺鍼ができる。	
10	授業内容	ペアの背部への刺鍼を学ぶ。 ペアの背部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの背部で正しい刺鍼ができる。	
11	授業内容	ペアの腹部への刺鍼を学ぶ。 ペアの腹部に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの腹部で正しい刺鍼ができる。	
12	授業内容	ペアの下肢への刺鍼を学ぶ。 ペアの下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解し、ペアの下肢で正しい刺鍼ができる。	
13	授業内容	ペアの下肢への刺鍼を学ぶ。 ペアの下肢に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解しペアの下肢で正しい刺鍼ができる。	
14	授業内容	ペアの全身の部位への刺鍼を学ぶ。（まとめ） ペアの全身の部位に消毒を行い、一連の流れで刺鍼を学ぶ。	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解しペアの全身の部位で正しい刺鍼ができる。	
15	授業内容	期末試験 まとめ	刺鍼の流れを復習する。 刺鍼の流れを理解し、刺鍼練習台などで練習する。
	到達目標	刺鍼の流れを理解しペアの上肢・下肢で正しい刺鍼ができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	きゅう実技Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	3 0 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中村 沙樹 丸茂 栄士郎 半田 由美子	E-mail		実施時期	1 年 前期		

授業の目的	
艾炷づくりなどの灸術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身の身体に対し安全に施術することを目的とする。	
到達目標	
人体の指定複数部位に指定の大きさと形状で、適切な施術手順、手技、消毒法にて施灸が指定時間内に安全に行う事ができる。	
授業の内容	
きゅう実技の目標、灸術とはどのようなものか理解し、きゅう実技の主となる艾炷づくりの指使いを体得する。 温度センサーによる施灸温度の確認ができる。 温筒灸・箱灸などの温灸を体験する。 自宅で施灸練習として、課題を行う。	
注意事項	
ケーシー、学生証（胸ポケットにつける）、鍼灸バッグ（灸具、施灸板、エタノール、綿花、ヒビスコール） 白衣、灸具の貸し借りは減点の対象とします。	
成績評価	
受験資格・・・授業時間数の 4 /5 以上の出席。 評価・・・・・・授業態度・課題提出 20%（課題は次の実技時間までに提出） 艾炷への点火の段階まで進行後は、毎回課題（宿題）があり、次の週に提出となります。 中間テスト 30%、学期末実技試験 50%を合わせて評価を行う。	
テキスト	
「はりきゅう実技」医歯薬出版 「はりきゅう理論」医歯薬出版	
参考文献・図書	
「はりきゅう基礎技術学」南江堂 「鍼灸医療安全ガイドライン」 鍼灸安全委員会 医歯薬出版株式会社	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 灸具の説明・施灸練習板作成・艾炷づくりの基礎を練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、艾炷づくりを練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷づくりができる。	
2	授業内容	ビデオによる灸術の一連の流れの理解、艾炷づくりを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、艾炷づくりを練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷づくりの基礎ができる。	
3	授業内容	施灸練習板での艾炷作成を練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、艾炷づくりを練習する。
	到達目標	灸術を理解し、施灸練習板で艾炷づくりの基礎ができる。	
4	授業内容	施灸板での艾炷作成を練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、艾炷づくりを練習する。
	到達目標	灸術を理解し、施灸板で艾炷づくりの基礎ができる。	
5	授業内容	灸療リングの使用・施灸練習板での艾炷立てを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、灸療リングを使用し、艾炷づくりを練習する。
	到達目標	灸術を理解し灸療リング・施灸練習板での艾炷立てができる。	
6	授業内容	艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷への点火ができる。	
7	授業内容	艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷への点火ができる。	
8	授業内容	艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷への点火ができる。	
9	授業内容	艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。 中間試験	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷への点火ができる。	
10	授業内容	箱灸・温筒灸を練習する。	箱灸・温筒灸を復習する。 箱灸・温筒灸を理解する。
	到達目標	箱灸・温筒灸ができる。	
11	授業内容	人体での艾炷立て・上肢 温度センサーを用いて練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、人体での艾炷立てを練習する。
	到達目標	人体での艾炷立てができ、温度センサーが使える。	
12	授業内容	人体での艾炷立て・下肢 温度センサーを用いて練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、人体での艾炷立てを練習する。
	到達目標	人体での艾炷立てができ、温度センサーが使える。	
13	授業内容	施灸板での艾炷作成を学ぶ。 艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、人体での艾炷立てを練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷作成・艾炷への点火ができる。	
14	授業内容	施灸板での艾炷作成を学ぶ。 艾炷への点火（紙上）・施灸練習板での一連の流れを練習する。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷作成・艾炷への点火ができる。	
15	授業内容	期末試験	前期の内容の確認。 引き続き練習してください。
	到達目標	本授業の内容を修得する	

※ 授業の進行上、内容は前後する場合があります。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床コミュニケーション学	単位数	1 単位	授業形態	演習	実務経験 の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	蘆原 恵子	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的							
この科目は鍼灸診療を行うために必要なコミュニケーションについて学び、医療面接・クライアント対応などを学び演習形式で行われます。診療においてはクライアント対応に必要となるマナー、カルテの記入方法、さらに医療機関などとの連携の文書交換方法などを学び修得することを目的とします。							
到達目標							
医療面接を行う上で必要な医療コミュニケーションの目的やその役割を理解し、そのスキルを習得していきます。							
授業の内容							
・医療コミュニケーションの目的や役割を深く理解し、そのスキルの習得を行うため、授業内ではロールプレイやグループ討論などを実施します。 ・具体的には、総論から始まり、コミュニケーションのスキル、カルテの理解（書き方）、医療コミュニケーションのロールプレイなどを考えていきます。 なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
授業での提出物、中間チェック、授業態度、15 コマ目に行うカルテ作成を合わせて 60%以上							
テキスト							
指定のテキストはありません。各授業内で配布される資料を用いてください。							
参考文献・図書							
『鍼灸臨床における医療面接』 丹澤章八著 医道の日本社 『医療面接とコミュニケーションのとり方』 福島統 メディカルビュー 『はじめての医療面接』 斎藤清二著 医学書院 『患者と医師のコミュニケーション』 石川ひろの 篠原出版新社 『メディカルインタビュー』 飯島克巳訳 メディカルサイエンスインターナショナル							
オフィスアワーについて							
曜日：水曜日 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション コミュニケーションについて、医療面接とは	コミュニケーション・医療面接の 復習を行う。
	到達目標	コミュニケーション・医療面接を理解する。	
2	授業内容	コミュニケーションを考える	コミュニケーションの復習を行 う。
	到達目標	言語的・非言語的コミュニケーションを理解する	
3	授業内容	NBM	NBM とは何かを復習しておく
	到達目標	NBM を理解する	
4	授業内容	医療コミュニケーションスキル 1	コミュニケーションスキルにつ いて復習を行う。
	到達目標	医療コミュニケーションスキルについて理解する。	
5	授業内容	医療コミュニケーションスキル 2	コミュニケーションスキルにつ いて復習を行う。
	到達目標	医療コミュニケーションスキルについて理解する。	
6	授業内容	カルテの書き方 1	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載方法が理解できる。	
7	授業内容	カルテの書き方 2	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載ができる。	
8	授業内容	カルテの書き方 3	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載ができる。	
9	授業内容	カルテの書き方 4・患者紹介・返信の仕方	カルテの書き方・患者紹介・返信 の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載・患者紹介・返信の仕方ができる。	
10	授業内容	中間確認（コミュニケーションスキル、カルテについて）	ロールプレイで学んだことの復 習を行う。
	到達目標	コミュニケーションスキル、カルテについて確認ができる。	
11	授業内容	ロールプレイ 1	ロールプレイで学んだことの復 習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
12	授業内容	ロールプレイ 2	ロールプレイで学んだことの復 習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
13	授業内容	ロールプレイ 3	ロールプレイで学んだことの復 習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
14	授業内容	ロールプレイ 4	ロールプレイで学んだことの復 習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	コミュニケーションについて総 復習を行い、今後の実習に役立て る。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	きゅう実技Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有 無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中村 沙樹 丸茂 栄士郎 半田 由美子	E-mail			実施時期	1 年	後期

授業の目的							
艾炷づくりなどの灸術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得し、自身の身体に対し安全に施術することを目的とする。							
到達目標							
人体の指定複数部位に指定の大きさと形状で、適切な施術手順、手技、消毒法にて施灸が指定時間内に安全に行う事ができる。							
授業の内容							
自身の身体に安全（消毒法を含む）に施灸ができる。相手の身体に安全（消毒法を含む）に施灸ができる。 温筒灸・隔物灸・棒灸・温灸器などの温灸を体験する。 自宅で施灸練習として、課題を行う。							
注意事項							
白衣またはケーシー、学生証（胸ポケットにつける）、鍼灸道具（灸具）などを忘れた場合、 また実技ができる服装不備、授業に関係のない携帯・タブレット操作（撮影含む）は減点の対象となる。							
成績評価							
受験資格・・・授業時間数の 4 /5 以上の出席。 評価・・・・・・授業態度・課題提出を合わせて評価を行う。							
テキスト							
「はりきゅう実技」医歯薬出版 「はりきゅう理論」医歯薬出版							
参考文献・図書							
「はりきゅう基礎技術学」南江堂 「鍼灸医療安全ガイドライン」 鍼灸安全委員会 医歯薬出版株式会社							
オフィスアワーについて							
曜日： 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 艾炷への点火（紙上・施灸練習板）での一連の流れを復習。	艾炷づくりを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷作成・艾炷への点火ができる。	
2	授業内容	艾炷への点火（紙上・施灸練習板）での一連の流れを復習。 八分灸の練習。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷作成・艾炷への点火ができる。	
3	授業内容	艾炷への点火（紙上・施灸練習板）での一連の流れを復習。 八分灸の練習。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	灸術を理解し、艾炷作成・艾炷への点火ができる。	
4	授業内容	自身の下肢への施灸を学ぶ。 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、自身の下肢で正しい施灸ができる。	
5	授業内容	自身の下肢への施灸を学ぶ。 自身の下肢に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、自身の下肢で正しい施灸ができる。	
6	授業内容	ペアの上肢への施灸を学ぶ。 ペアの上肢に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの上肢で正しい施灸ができる。	
7	授業内容	ペアの腹部への施灸を学ぶ。 ペアの腹部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腹部で正しい施灸ができる。	
8	授業内容	ペアの腹部への施灸を学ぶ。 ペアの腹部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腹部で正しい施灸ができる。	
9	授業内容	ペアの頭部への施灸を学ぶ。 ペアの頭部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの頭部で正しい施灸ができる。	
10	授業内容	ペアの下肢への施灸を学ぶ。 ペアの下肢に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの下肢で正しい施灸ができる。	
11	授業内容	ペアの下肢への施灸を学ぶ。 ペアの下肢に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの下肢で正しい施灸ができる。	
12	授業内容	ペアの腰部への施灸を学ぶ。 ペアの腰部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腰部で正しい施灸ができる。	
13	授業内容	ペアの腰部への施灸を学ぶ。 ペアの腰部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腰部で正しい施灸ができる。	
14	授業内容	ペアの腰部への施灸を学ぶ。 ペアの腰部に消毒を行い、一連の流れで施灸を学ぶ。	施灸の流れを復習する。 灸術を理解し、紙上に艾炷への点火を練習する。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腰部で正しい施灸ができる。	
15	授業内容	試験の練習	きゅう実技Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえて、次年度の実技に活かせるよう練習を続ける。
	到達目標	施灸の流れを理解し、ペアの腰部で正しい施灸ができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	取穴実技Ⅰ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	⑦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 小田原 崇文	E-mail		実施時期	1年 前期		

授業の目的	
経穴学概論Ⅰで学んだ12経絡の流れを理解し、実際に人体において主要経穴を正確に取穴することを目的とする。 また、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマーク(解剖学的指標)を触知及び確認できることも含む。	
到達目標	
身体各部のランドマークが説明と触知ができ、それらのランドマークを用いて主要経穴を正確に取穴することができる。	
授業の内容	
毎回、指示された「ランドマーク」および「経穴」に、シールまたはペンで取穴を行う。 ①取穴を行うために必要なランドマークをスライドで示し、取穴ペンやシールでマークする。 ②経穴を色シールで体表に貼り、経穴名を書いたシールを横に貼る。 ※経穴名を記載したシールは、毎回授業前に必ず記載しておくこと。	
注意事項	
必要なもの: 鍼灸具(綿花・ペン・色シール・経穴名を記載した経穴シール、ラインテープ) ケース、服装(※身体各部が十分に露出できるような服装、短パン等) 経絡経穴概論のテキスト、ipad	
成績評価	
受験資格: 授業時間数の 4/5 以上の出席 成績評価: 授業態度・実技試験	
テキスト	
「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日: 時間: 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50 分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習(予習・復習)
1	授業内容	オリエンテーション、取穴実技の概要説明	取穴実技に関係する経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	取穴実技の概要が理解できる。	
2	授業内容	肺経①の取穴を理解する。	肺経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肺経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
3	授業内容	肺経②の取穴を理解する。	肺経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肺経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
4	授業内容	大腸経①の取穴を理解する。	大腸経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	大腸経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
5	授業内容	大腸経②の取穴を理解する。	大腸経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	大腸経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
6	授業内容	胃経①の取穴を理解する。	胃経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	胃経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
7	授業内容	胃経②の取穴を理解する。	胃経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	胃経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
8	授業内容	脾経①の取穴を理解する。	脾経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	脾経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
9	授業内容	脾経②の取穴を理解する。	脾経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	脾経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
10	授業内容	心経①の取穴を理解する。	心経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	心経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
11	授業内容	心経②の取穴を理解する。	心経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	心経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
12	授業内容	小腸経①の取穴を理解する。	小腸経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	小腸経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
13	授業内容	小腸経②の取穴を理解する。	小腸経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	小腸経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
14	授業内容	まとめ①:一連の流れの確認(1回目)	肺経～小腸経までの経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肺経～小腸経までのランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
15	授業内容	まとめ②:一連の流れの確認(2回目)	肺経～小腸経までの経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肺経～小腸経までのランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	取穴実技Ⅱ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 小田原 崇文	E-mail		実施時期	1年 前期		

授業の目的	
経穴学概論Ⅰ・Ⅱで学んだ12経絡の流れを理解し、実際に人体において主要経穴を正確に取穴することを目的とする。また、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマーク(解剖学的指標)を触知及び確認できることも含む。	
到達目標	
身体各部のランドマークが説明と触知ができ、それらのランドマークを用いて主要経穴を正確に取穴することができる。	
授業の内容	
毎回、指示された「ランドマーク」および「経穴」に、シールまたはペンで取穴を行う。 ①取穴を行うために必要なランドマークをスライドで示し、取穴ペンやシールでマークする。 ②経穴を色シールで体表に貼り、経穴名を書いたシールを横に貼る。 ※経穴名を記載したシールは、毎回授業前に必ず記載しておくこと。	
注意事項	
必要なもの: 鍼灸具(綿花・ペン・色シール・経穴名を記載した経穴シール、ラインテープ) ケース、服装(※身体各部が十分に露出できるような服装、短パン等) 経絡経穴概論のテキスト、ipad	
成績評価	
受験資格: 授業時間数の 4/5 以上の出席 成績評価: 授業態度・実技試験	
テキスト	
「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日: 時間: 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50 分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習(予習・復習)
1	授業内容	オリエンテーション ペアにランドマーク・取穴を行う。(督脈・任脈①)	督脈・任脈のランドマークを理解し、経絡の流れを復習する。
	到達目標	膀胱経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
2	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(督脈・任脈②)	督脈・任脈のランドマークを理解し、経絡の流れを復習する。
	到達目標	膀胱経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
3	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(膀胱経①)	膀胱経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	膀胱経のランドマークを理解し、ペアに正しい取穴ができる。	
4	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(膀胱経②)	膀胱経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	膀胱経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
5	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(腎経)①	腎経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	腎経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
6	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(腎経)②	腎経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	腎経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
7	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(心包経)①	心包経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	心包経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
8	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(心包経)②	心包経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	心包経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
9	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(三焦経)①	三焦経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	三焦経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
10	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(三焦経)②	三焦経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	三焦経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
11	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(胆経)①	胆経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	胆経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
12	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(胆経)②	胆経のランドマークを理解し、心経の経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	胆経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
13	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(肝経)①	肝経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肝経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
14	授業内容	ペアにランドマーク・取穴を行う。(肝経)②	肝経のランドマークを理解し、経絡の流れを教科書で復習する。
	到達目標	肝経のランドマークを理解し、正しい取穴ができる。	
15	授業内容	まとめ①:一連の流れの確認(督脈～肝経)	督脈～肝経までの経絡の流れを教科書で復習する。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学実習Ⅰ)	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験 の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 半田 由美子	E-mail			実施時期	2 年 前期	

授業の目的	
1 年時で習得した東洋医学基礎理論に基づき、東洋医学的診察を理解し、実践する。また、診察で得た情報から病態把握へつなげる能力を修得することを目的とします。	
到達目標	
四診法を習得し、的確な弁証を行えること、鍼灸の手技技術を向上させると共に補寫の概念を理解し、目的の治療を行えるようにします。	
授業の内容	
本実習では四診（望・聞・問・切）を学習していきます。 1. 望：顔面診、舌診など視診を行います。 2. 聞：五声、五臭など聞診を行います 3. 問：東洋医学的問診項目を用いた問診を行います。 4. 切：脈診、腹診、俞募穴診など切診を行います。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
成績評価	
評価は期末の実技試験によって行いますが、授業中の態度および課題も評価します。 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。	
テキスト	
東洋医学概論 東洋療法学校協会 医道の日本	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、東洋医学診察方法（手順）四診について	東洋医学診察方法（手順）四診についての再確認
	到達目標	東洋医学診察方法（手順）四診について理解できる。	
2	授業内容	舌診+脈診トレーニング①	舌診+脈診+問診カルテ提出
	到達目標	患者配慮ができる（適切な声かけや配慮ある態度および説明）	
3	授業内容	舌診+脈診トレーニング②	舌診+脈診+問診カルテ提出
	到達目標	舌診の分類と脈診の基礎を理解できる。	
4	授業内容	舌診+脈診トレーニング③	舌診+脈診+問診カルテ提出
	到達目標	舌診の分類と脈診の流れを理解できる。	
5	授業内容	舌診+脈診トレーニング④	舌診+脈診+問診カルテ提出
	到達目標	舌診の分類と脈診の流れを十分理解できる。	
6	授業内容	舌診+脈診トレーニング⑤	舌診+脈診+問診カルテ提出
	到達目標	舌診の分類と脈診の全体を理解できる。	
7	授業内容	募穴診+背候診トレーニング①	募穴診+背候診トレーニングシート提出
	到達目標	募穴診+背候診のうち募穴診の基礎が主に理解できる。	
8	授業内容	募穴診+背候診トレーニング②	募穴診+背候診トレーニングシート提出
	到達目標	募穴診+背候診のうち募穴診の流れが主に理解できる。	
9	授業内容	募穴診+背候診トレーニング③	募穴診+背候診トレーニングシート提出
	到達目標	募穴診+背候診のうち背候診の基礎が主に理解できる。	
10	授業内容	募穴診+背候診トレーニング④	募穴診+背候診トレーニングシート提出
	到達目標	募穴診+背候診のうち背候診の流れが主に理解できる。	
11	授業内容	募穴診+背候診トレーニング⑤	募穴診+背候診トレーニングシート提出
	到達目標	募穴診+背候診ともに十分理解できる。	
12	授業内容	五要穴・五俞穴・五行穴①	五要穴・五俞穴・五行穴トレーニングシート提出
	到達目標	五要穴・五俞穴・五行穴の基礎が理解できる。	
13	授業内容	五要穴・五俞穴・五行穴②	五要穴・五俞穴・五行穴トレーニングシート提出
	到達目標	五要穴・五俞穴・五行穴の流れが十分理解できる。	
14	授業内容	まとめ 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学実習Ⅱ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	○ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 半田 由美子	E-mail			実施時期	2年 後期	

授業の目的							
東洋鍼灸臨床学で修得したMシステムに則り、推定病証に必要な各部の診察を行い、その所見より得られた情報より病態把握及び治療穴の選穴ができる能力を修得することを目的とします。							
到達目標							
Mシステム(東洋医学)に即した問診・診察手技が正確に行ない、病態把握・弁証ができる。その結果を元に、的確な選穴と治療方法の決定ができる。							
授業の内容							
本実習ではMシステム(東洋医学)問診・診察・病態把握・治療穴選穴・施術方法を以下の項目ごとに学習します。 1. 外感病:問診から外感病の病態把握・治療穴選穴・施術方法 2. 蔵府病:問診から内傷病(臓腑病)の病態把握・診察法・治療穴選穴・施術方法 3. 経脈病:問診から内傷病(経脈病)の病態把握・診察法・治療穴選穴・施術方法 4. 経筋病:問診から内傷病(経筋病)の病態把握・診察法・治療穴選穴・施術方法 Mシステム東洋医学実習カルテを配布。内容説明後、互いに診察情報収集。治療穴選穴後、互いに施術を行います。 Mシステム東洋医学実習カルテカルテは、毎回提出していただき、評価し評価後返却します。 授業進行 前回の振り返り:5 分、内容説明・デモ:25 分、相互実習 50 分(25 分×2 回 M式診療情報収集と鍼灸)、準備・交代・後片付け 10 分で行います。 なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。また、白衣・鍼灸用具など忘れ物に注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※実技室使用における注意事項を厳守しない場合は減点とする。 受験資格は授業時間数の4/5以上の出席とする。							
成績評価							
Mシステム東洋医学実習カルテ評価 30 点(3 点×10 回分) 試験評価 70 点(中間評価1・2:各 20 点、最終評価 30 点) 出席・忘れ物・授業態度で最大 20 点減点を行います。(出席:-3 点 遅刻:-1 点 忘れ物・態度不良:-2 点)							
テキスト							
『鍼灸診療コアテキスト』 明治東洋医学院編集							
参考文献・図書							
東洋療法学校協会編「東洋医学概論」医道の日本社 鍼灸学「基礎編」日中共同編集／東洋学術出版							
オフィスアワーについて							
曜日: 火曜日・木曜日 時間:16 時 20 分～17 時 50 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50 分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習(予習・復習)
1	授業内容	オリエンテーション Mシステム(東洋医学)の流れ	予習:なし 復習:Mシステム(M式)カルテ 記載法再確認
	到達目標	Mシステム(東洋医学)の流れを説明できる。	
2	授業内容	外感病の病態把握・治療穴選穴・施術方法	予習:「外感病」の再確認 復習:M式カルテの外感病の 完成提出
	到達目標	外感病の決定、治療穴選穴と手技で施術できる。	
3	授業内容	蔵府病に対する診察・治療 1(募穴診に対する治療)	予習:「蔵府病」の再確認 復習:M式カルテの蔵府病の 完成提出(募穴診)
	到達目標	蔵府病の決定、募穴診・治療穴選穴と手技で施術できる。	
4	授業内容	蔵府病に対する診察・治療 1(背俞穴診に対する治療)	予習:「蔵府病」の再確認 復習:M式カルテの蔵府病の 完成提出(背俞穴診)
	到達目標	蔵府病の決定、背俞穴診・治療穴選穴と手技で施術できる。	
5	授業内容	中間評価1の内容説明と練習	予習:「蔵府病」の再確認 復習:評価内容の再確認
	到達目標	中間評価1内容が説明できる。	
6	授業内容	中間評価1	復習:自己評価用紙の記載と 提出
	到達目標	自己評価できる。	
7	授業内容	経脈に対する診察・治療	予習:「経脈病」の再確認 復習:M式カルテの経脈病の 完成提出
	到達目標	経脈病の決定、診察・治療穴選穴と手技で施術できる。	
8	授業内容	経筋に対する診察・治療	予習:「経筋病」の再確認 復習:M式カルテの経脈病の 完成提出
	到達目標	経筋病の決定、診察・治療穴選穴と手技で施術できる。	
9	授業内容	中間評価2の内容説明と練習	予習:「経筋経脈病」の再確認 復習:評価内容の再確認
	到達目標	中間評価2内容が説明できる。	
10	授業内容	中間評価2	復習:自己評価用紙の記載と 提出
	到達目標	自己評価できる。	
11	授業内容	模擬症例に対する治療 1	予習:模擬症例の確認 復習:問題点の再確認
	到達目標	模擬症例を理解し演じることができる。	
12	授業内容	模擬症例に対する治療 2	予習:模擬症例の確認 復習:問題点の再確認
	到達目標	模擬症例にM式の病態把握・診察法・治療穴選穴ができる。	
13	授業内容	模擬症例に対する治療 3	予習:模擬症例の確認 復習:問題点の再確認
	到達目標	模擬症例にM式の治療ができる。	
14	授業内容	期末評価の内容説明と練習	予習:外感病以外の再確認 復習:評価内容の再確認
	到達目標	期末評価内容が説明できる。	
15	授業内容	期末評価	復習:自己評価用紙の記載と 提出
	到達目標	自己評価できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	実技	実習の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 森川 由紀子	E-mail			実施時期	2 年 前期	

授業の目的	
臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。整形外科疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。	
到達目標	
①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。 ②整形外科疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。	
授業の内容	
頸部・上肢などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。	
成績評価	
1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。	
テキスト	
『New 鍼灸診療コアテキスト 』 明治東洋医学院編集	
参考文献・図書	
臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	頸部の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	頸部の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	頸部の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	頸部の診察④徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	肩部の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	肩部の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	肩部の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	肩部の診察④徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	上肢の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	上肢の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	上肢の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	上肢神経所見①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	上肢神経所見②・まとめ	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	実技	実務経験 の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 森川 由紀子	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的	
臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。整形外科疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。	
到達目標	
①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。 ②整形外科疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。	
授業の内容	
腰下肢・膝の各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。	
成績評価	
1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。	
テキスト	
『New 鍼灸診療コアテキスト 』 明治東洋医学院編集	
参考文献・図書	
臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	診察手順について：問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	腰下肢の診察①徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	腰下肢の診察②徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	腰鑑別の診察③徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	腰鑑別の診察④徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	下肢神経所見⑤徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	腰部の治療①筋筋膜性腰痛など	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	腰部の治療②椎間関節性腰痛など	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	膝Ⅰの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	膝Ⅰの診察②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	膝Ⅱの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	膝Ⅱの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	下肢痛の診察～治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	実技	実習の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 森川 由紀子	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。
中枢神経系の疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②中枢神経系疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。

授業の内容

中枢神経などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。
本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

『New 鍼灸診療コアテキスト 』 明治東洋医学院編集

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	血圧測定①	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	血圧測定②	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	腹部の診察：視診、聴診、打診、触診	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	胸部の診察：視診、聴診、打診、触診	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	中枢神経系の検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	腹痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	咳、痰に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	運動麻痺に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	めまい、耳鳴り難聴に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	頭痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療③・まとめ	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	実技	実習の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	小田原 崇文 森川 由紀子	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。
中枢神経系の疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②中枢神経系疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。

授業の内容

中枢神経などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。
本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

『New 鍼灸診療コアテキスト 』 明治東洋医学院編集

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、診察手順（腹部の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	診察手順（胸部の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	診察手順（中枢神経系の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	頭 痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	排尿障害に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	脳血管障害後遺症に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	めまいに対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	耳鳴り・難聴に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	気管支喘息（咳と痰）に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	胃痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	下痢・便秘に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	パーキンソン病に対する治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	まとめ①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	まとめ②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	鍼灸の歴史と社会Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実習の有無	㊦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治国際医療大学 附属鍼灸センター、京都駅前鍼灸院 明治東洋医学院専門学校 附属治療所 勤務					
担当者	福田 文彦	E-mail		実施時期	1 年	後期	

授業の目的							
これから鍼灸を行う施術者として、はりきゅうの起源を知り、どの様に日本へ伝来され日本国内においてどの様に発展したかなどの歴史的背景、世界の鍼灸事情、我が国における鍼灸治療の現状を学修するとともにキャリアパスを考える力を養うことを目的とする。また、学校が指定した講習会に参加し、生涯教育としての研修会について体験する。							
到達目標							
・ はりきゅうの歴史的背景、世界の鍼灸事情を説明できる。 ・ 我が国における鍼灸治療の現状が説明できる。 ・ 講習会で得た知識を説明できる。							
授業の内容							
オムニバス形式で進行します。 この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 <u>無断での途中退出や早退は「欠席」となります。</u> 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価							
1. 授業時間数の 2/3 以上の出席がないと受験資格が無くなります。 2. 評価はレポートで行います。 3. 評価は 60 点以上で合格となります。							
テキスト							
配布資料							
参考文献・図書							
オムニバスによるため、都度説明紹介します。またインターネット関連サイト・関連文献なども参考にしてください。 速修 現代臨床鍼灸学エッセンス 山下 仁 著 錦房							
オフィスアワーについて							
直接もしくはメールによりアポイントメントをとっていただくことによって、随時対応します。							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション はりきゅうの歴史①（日本鍼灸の歴史、古代から江戸時代まで）	はりきゅうの歴史について復習して下さい。
	到達目標	・ 古代から江戸時代までの鍼灸について説明できる。	
2	授業内容	はりきゅうの歴史②（幕末から現在まで）	はりきゅうの歴史について復習して下さい。
	到達目標	・ 幕末から現在までの鍼灸について説明できる。	
3	授業内容	現代の日本鍼灸とは	現代の日本鍼灸について復習して下さい。
	到達目標	・ 鍼灸治療の適応範囲、受療率、患者満足度が説明できる。 ・ 鍼灸治療の流れ、治療手技、働く場所が説明できる。	
4	授業内容	世界の鍼灸事情：アジア	世界の鍼灸事情について復習して下さい。
	到達目標	・ アジアにおける鍼灸事情が説明できる。	
5	授業内容	世界の鍼灸事情：ヨーロッパ	世界の鍼灸事情について復習して下さい。
	到達目標	・ ヨーロッパにおける鍼灸事情が説明できる。	
6	授業内容	鍼灸師に必要なキャリアパス（本校におけるキャリア支援） 鍼灸治療は何で効くの	鍼灸師に必要なキャリアパス、基本的な鍼灸治療の治効理論について復習して下さい。
	到達目標	・ 鍼灸師に必要なキャリアパスが説明できる。 ・ 基本的な鍼灸治療の治効理論が説明できる。	
7	授業内容	日本の鍼灸師の働く場所：来院型、訪問型、医療機関	日本の鍼灸師の働く場所について復習して下さい。
	到達目標	・ 鍼灸師の働く場所が説明できる。	
8	授業内容	鍼灸治療の活躍の場所：未病・美容領域	未病・美容領域について復習して下さい。
	到達目標	・ 未病・美容領域の目的が説明できる。 ・ 未病・美容領域の実際の方法や効果が説明できる。 ・ 未病・美容領域に必要な学びが説明できる。	
9	授業内容	鍼灸治療の活躍の場所：スポーツ領域	スポーツ領域について復習して下さい。
	到達目標	・ スポーツ領域の目的が説明できる。 ・ スポーツ領域の実際の方法や効果が説明できる。 ・ スポーツ領域に必要な学びが説明できる。	
10	授業内容	鍼灸治療の活躍の場所：運動器領域	運動器領域について復習して下さい。
	到達目標	・ 運動器領域の目的が説明できる。 ・ 運動器領域の実際の方法や効果が説明できる。 ・ 運動器領域に必要な学びが説明できる。	
11	授業内容	鍼灸治療の活躍の場所：内科領域	内科領域について復習して下さい。
	到達目標	・ 内科領域の目的が説明できる。 ・ 内科領域の実際の方法や効果が説明できる。 ・ 内科領域に必要な学びが説明できる。	
12	授業内容	鍼灸治療の活躍の場所：泌尿・生殖器領域	泌尿・生殖器領域について復習して下さい。
	到達目標	・ 泌尿・生殖器領域の目的が説明できる。 ・ 泌尿・生殖器領域の実際の方法や効果が説明できる。 ・ 泌尿・生殖器領域に必要な学びが説明できる。	
13	授業内容	学会・講習会への参加	学会・講習会で学んだことについて復習して下さい。
	到達目標	・ 学会・講習会で学んだこと説明できる。	
14	授業内容	学会・講習会への参加	学会・講習会で学んだことについて復習して下さい。
	到達目標	・ 学会・講習会で学んだこと説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	インターンシップ 実習Ⅰ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実習の有無	有・ 
		時間数	40 時間				
実務経験内容							
担当者	福田文彦	E-mail			実施時期	1 年	後期

授業の目的

これから鍼灸を行う施術者として、鍼灸治療が行われている臨床現場を見修することは、将来のキャリアパス形成に重要である。本臨床実習では、地域において鍼灸院単独で開業されている鍼灸院での見修を通じて鍼灸院での鍼灸治療について学びキャリアパスを考える力を養うことを目的とする。

到達目標

- ・地域における鍼灸院の役割について説明できる。
- ・鍼灸院に通院している患者の特性について説明できる。
- ・担当いただいた鍼灸院・鍼灸師の鍼灸治療の方針、治療方法を説明できる。

授業の内容

オムニバス形式で進行します。
この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合もありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

1. 授業時間数の 2/3 以上の出席がないと受験資格が無くなります。
2. 評価はレポートで行います。
3. 評価は 60 点以上で合格となります。

テキスト

配布資料

参考文献・図書

オムニバスによるため、都度説明紹介します。

オフィスアワーについて

直接もしくはメールによりアポイントメントをとっていただくことによって、随時対応します。

授業時間外の学習について

臨床実習計画を確認し復習を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	はりきゅうの歴史について復習して下さい。
	到達目標	本臨床実習の目的が説明できる。	
2 ～ 19	授業内容	臨床実習 ・ 地域における鍼灸院の役割について説明できる。 ・ 鍼灸院に通院している患者の特性について説明できる。 ・ 担当いただいた鍼灸院・鍼灸師の鍼灸治療の方針、治療方法を説明できる。	臨床実習計画を確認し復習を行ってください。
	到達目標		
20	授業内容	まとめ	
	到達目標	・ 地域における鍼灸院の役割について説明できる。	